

26. 5. 28

平成 25 年度

# 事業報告書

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>東京都同胞援護会

# 平成 25 年度事業報告

## 目 次

一	平成 25 年度事業報告	1
二	事業経営	7
1	保育支援系福祉サービスの経営	7
2	高齢者支援系福祉サービスの経営	24
3	障害者支援系福祉サービスの経営	62
4	児童・女性支援系福祉サービスの経営	80
5	医療事業の経営	94
6	収益事業の経営	97
三	職員福利厚生制度	99
四	理事会及び評議員会	100
五	施設長会議及び各種委員会	106
六	事務局主要業務	126



## 一 平成 25 年度事業報告

平成 25 年度の日本経済は、緩やかな景気回復基調となりましたが、消費税増税後の影響など今後景気動向を左右する要因も多く、先行きは不透明な状況にあります。

国においては、社会保障制度改革が計画の段階から実行の段階に移行し、年金、医療、介護、子ども・子育ての各分野で、具体化に向けた議論が進んでいます。

当法人においては、引き続き利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保及び育成に努めました。

まず、施設運営については、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進いたしました。

老朽化した施設の更新については、大山保育園の改築工事が計画通り進んでおり、立川福祉作業所も仮設建物建築が始まる段階となっております。

また新たに昭島市の(仮称)拝島駅前保育園の事業者公募に応募し、受託することになりました。

次に、人材の確保・育成については、25 年度も新規学卒者の計画的な採用を進めるとともに、新規職員から施設長まで階層別に法人研修を実施したほか、各支援系グループにおいても分野別の研修を行い、職員の資質向上に繋げました。

最後に、昭島病院の運営についてですが、放射線医用画像情報管理システムの導入など医療設備の充実を図るとともに、地域医療連携の拡充や救急医療の積極的受け入れなど地域の中核病院の役割を担って参りました。また、今年度の収支状況についても引き続き黒字決算となりました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

# 平成25年度 施設利用状況報告

平成26年3月31日現在

グループ名	種別	施設名	利用状況							備考	
			定員	(3月利用者 実績数)	1日 利用者 平均	年間 利用者 数	年間 実施 延日数	(25年度) 年間 利用率	(24年度) 年間 利用率		前年 対比 年間 利用率
保育 支 援 系	保 育 所	むさしの保育園	169	169	168.9	49,663	294	100.0%	106.0%	-6.0%	
		本園	140	140	139.9	41,137	294	99.9%	107.7%	-7.8%	
			方南分園	29	29	29.0	8,526	294	100.0%	98.6%	1.4%
		昭和郷保育園	100	116	115.6	33,872	294	115.2%	117.2%	-2.0%	
		大山保育園	122	125	125.5	36,786	294	102.6%	104.5%	-1.9%	
		昭和郷第二保育園	190	198	194.0	56,846	294	101.8%	106.4%	-4.6%	
		みなと保育園	70	72	72.6	21,270	294	103.4%	103.5%	-0.1%	
		同援みどり保育園	125	130	130.8	38,331	294	104.3%	103.9%	0.4%	
		つつじが丘保育園	110	132	132.8	38,912	294	120.3%	120.0%	0.3%	
	同援さくら保育園	108	121	121.4	35,574	294	112.0%	110.0%	2.0%		
保育施設計			994	1,063	1,062	311,254	—	106.5%	108.6%	-2.1%	
高 齢 者 支 援 系	養護老人ホーム	万世敬老園	200	198	201.0	73,366	365	100.5%	100.2%	0.3%	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%	
		ライトホーム	50	37	33.9	12,372	365	67.8%	66.8%	1.0%	
	救護施設	昭島荘	100	100	100.1	36,530	365	100.1%	100.0%	0.1%	
	小 計			400	385	385.0	140,518	—	96.2%	96.0%	0.2%
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	94.6	98.0	35,775	365	94.2%	94.6%	-0.4%	
		ニューフジホーム	104	100.4	99.3	36,246	365	95.5%	96.0%	-0.5%	
		原町ホーム	52	52.2	52.0	18,962	365	99.9%	97.9%	2.0%	
		ゆたか苑	54	50.8	52.4	19,143	365	97.1%	98.9%	-1.8%	
		ひかり苑	54	52.6	53.2	19,402	365	98.4%	98.7%	-0.3%	
	小 計			368	350.6	354.9	129,528	—	96.4%	96.7%	-0.3%
	認 知 症 対 応 型 老 人 共 同 生 活 支 援 事 業 ( グ ル ー プ ホ ー ム)	かえで	9	9	8.2	3,011	365	91.7%	96.1%	-4.4%	
			原町グループホーム	18	18	15.7	5,713	365	87.0%	0.0%	87.0%
		老人 デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	18.5	18.0	5,531	307	72.1%	69.7%	2.4%
			フジ・デイホーム	10	6.5	7.3	2,237	307	72.9%	79.3%	-6.4%
			原町デイサービスセンター	12	7.5	5.7	1,765	308	47.8%	0.0%	47.8%
			東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	8.4	8.6	2,646	308	71.6%	62.7%	8.9%
		地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	966	41.0	12,647件	308	—	—	—
			昭島市中部地域包括支援センター	—	1,011	34.8	10,272件	295	—	—	—
		居 宅 介 護 支 援 事 業 所	フジホーム	—	97	4.8	1,162	244	—	—	—
原町ホーム			—	72	2.3	655	288	—	—	—	
ゆたか苑			—	88	4.1	993	244	—	—	—	
ひかり苑			—	29	1.4	336	244	—	—	—	
小規模多機能型 居宅介護事業		原町小規模多機能型居宅介護センター	25	14	10.3	3,771	365	41.3%	0.0%	41.3%	
小 計			111	368	86	27,820	—	—	—		
公益事業		フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	
高齢者施設計			879	1,104	826	297,866	—	93.0%	94.6%	-1.6%	

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

グループ名	種別	施設名		利用状況								備考	
				定員	(3月利用者実績数)	利1日平均	年間利用者数	年間実施延日数	(25年度)年間利用率	(24年度)年間利用率	年間利用率前年対比		
障害者支援系	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	92	86.7	31,660	365	90.4%	93.2%	-2.8%		
		さやま園	生活介護	(90)	84.7	84.3	22,687	269	93.7%	92.9%	0.8%		
			就労移行支援	(6)	1	3.2	861	269	53.3%	100.1%	-46.8%		
			短期入所	4	—	1.5	562	365	38.5%	22.5%	16.0%		
			小茂根福祉園	生活介護	40	37	32.0	7,779	243	80.0%	80.2%	-0.2%	
		就労継続支援B		30	32	27.1	6,576	243	90.2%	87.3%	2.9%		
		立川福祉作業所	生活介護	30	21.8	23.6	6,361	269	78.8%	75.8%	3.0%		
			就労継続支援B	35	75	28.3	31.5	8,478	269	90.0%	93.5%	-3.5%	
			就労移行支援	10	9	9.4	2,519	269	93.6%	95.7%	-2.1%		
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	30	27.2	6,636	244	90.7%	90.9%	-0.2%	
	就労継続支援B		10	12	10.2	2,484	244	101.8%	113.4%	-11.6%			
	短期入所		2	—	0.7	266	365	36.4%	36.8%	-0.4%			
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	—	223	7.4	2,690	365	—	—	—			
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	—	861	26.0	9,508	365	—	—	—			
	共同生活介護・共同生活援助(知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見	6	6	5.9	2,160	365	98.6%	100.0%	-1.4%			
		グリーンハイツ	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%			
		フレンズ・モエ	4	4	3.7	1,357	365	92.9%	100.0%	-7.1%			
		パル	6	6	5.7	2,072	365	94.6%	99.5%	-4.9%			
		それいゆ小川	7	7	6.6	2,402	365	100.0%	100.0%	0.0%	H25.9月～定員7		
		ファーム竹丘1	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%			
ファーム竹丘2		7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%				
レジオンス巣鴨		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%				
はなみずき		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%				
ユーカリ		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%				
夢オハナ		6	6	6.0	2,183	365	99.8%	100.0%	-0.2%				
結オハナ		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%				
障害者施設計				353	1,498	436	132,746	—	90.0%	91.2%	-1.2%		
児童・女性支援系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	20	19.4	7,088	365	97.1%	98.4%	-1.3%		
		緊急一時保護事業	1	—	0.3	113	365	31.0%	0.0%	31.0%	4/1開設		
		サンライズ青山		20	18	17.7	6,467	365	88.6%	95.8%	-7.2%		
		緊急一時保護事業	1	—	0.3	114	365	31.2%	63.3%	-32.1%			
		サンライズ万世		20	19	18.2	6,643	365	91.0%	94.7%	-3.7%		
		緊急一時保護事業	2	—	0.2	87	365	11.9%	9.7%	2.2%			
	児童養護施設(地域小規模)	双葉園	50	48	48.7	17,793	365	97.5%	98.9%	-1.4%			
		双葉園	(38)	(36)	36.7	13,413	365	96.7%	98.5%	-1.8%			
		高嶋の家	(6)	(6)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%			
		くすのき	(6)	(6)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%			
	昭島市子どもワイライトステイ事業	(2)	17	—	112	365	—	—	—	4/1開設			
	婦人保護施設	いこいの家	40	10	21.1	7,718	365	52.9%	74.7%	-21.8%			
	児童厚生施設	昭島市児童センターぱれっと	—	6,370	198.8	65,806	331	—	—	—			
放課後児童健全育成事業	つつじが丘北学童クラブ	50	23	27.0	7,937	294	54.0%	51.0%	3.0%				
児童・女性施設計				204	6,508	351.9	119,766	—	83.5%	90.9%	-7.4%		
施設合計				2,430	10,172	2,675.633	861,632	—	96.0%	98.9%	-2.9%		
医療	病院	昭島病院		199	11,783	627.0	—	365	—	—	—		
	入院	199	4,714	144.0	—	365	72.2%	77.1%	-4.9%				
	外来	—	7,069	483.0	—	281	—	—	—				
	訪問看護ステーション	—	—	12.1	3,200	263	—	—	—				
収益	印刷	事業局		—	—	—	—	—	—	—	—		
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—			
合計(福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業29)				2,629	21,955	3,303	864,832	—	—	—	—		

平成25年度 職員配置状況報告(職員実人員数)

グループ名	種別	施設名	平成26年3月31日					25年度	平成25年3月31日					24年度	備考
			正規職員	臨時職員			職員数合計	(年間平均)	正規職員	臨時職員			職員数合計	(年間平均)	
				契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B			
保育支援系	保育所	むさしの保育園	36	4	0	20	60	52.3	31	5	2	30	68	51.0	調理委託
		昭和郷保育園	19	4	3	18	44	35.4	22	3	2	18	45	33.3	調理委託
		大山保育園	22	4	0	10	36	34.3	24	3	0	12	39	35.0	
		昭和郷第二保育園	29	3	3	23	58	46.8	30	1	3	22	56	45.9	調理委託
		みなと保育園	18	2	0	8	28	22.1	15	3	1	6	25	22.9	調理委託
		同援みどり保育園	25	1	0	19	45	39.2	28	1	0	19	48	40.9	
		つつじが丘保育園	24	2	1	17	44	36.0	21	5	2	19	47	36.8	調理委託
		同援さくら保育園	24	1	1	21	47	36.4	24	1	0	23	48	38.1	調理委託
	保育施設計			197	21	8	136	362	302.5	195	22	10	149	376	303.9
高齢者支援系	養護老人ホーム	万世敬老園	19	6	14	10	49	46.7	20	4	18	8	50	49.9	調理委託
	軽費老人ホーム	サンホーム	8	6	1	6	21	17.8	8	4	2	6	20	16.2	
		ライトホーム	1	2	0	0	3	3.0	1	2	0	0	3	3.0	
	救護施設	昭島荘	36	4	1	6	47	44.4	37	2	3	8	50	44.5	調理委託
	特別養護老人ホーム	フジホーム	27	17	9	12	65	57.1	25	11	12	16	64	59.1	調理委託
		ニューフジホーム	38	5	0	26	69	62.5	37	6	0	29	72	65.3	調理委託
		原町ホーム	18	4	10	7	39	36.5	16	5	10	7	38	37.8	調理委託
		ゆたか苑	22	4	2	15	43	31.5	21	4	2	12	39	34.2	調理委託
		ひかり苑	19	13	1	6	39	39.0	20	14	0	10	44	41.5	
	認知症対応型老人 共同生活援助事業	かえで	2	4	0	4	10	8.8	2	4	0	4	10	8.7	
		原町グループホーム	5	4	4	8	21	16.9	4	1	2	3	10	0.7	
	老人デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	3	1	6	4	14	11.9	3	1	6	3	13	11.6	
		フジ・デイホーム	1	0	6	0	7	6.8	1	0	5	1	7	6.7	
		原町デイサービスセンター	1	1	4	7	13	11.8	2	3	4	9	18	11.8	
		東大和市ふれあい デイセンターひかり苑	1	2	0	6	9	6.6	1	3	0	3	7	6.1	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者 総合相談センター	8	0	0	1	9	8.9	8	0	0	1	9	8.9	
		昭島市中部地域包括 支援センターあいぼっく	3	0	0	3	6	4.6	3	0	0	2	5	4.4	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	1	1	0	2	4	2.9	1	1	0	1	3	2.7	
		原町ホーム	2	0	0	0	2	2.0	2	0	0	0	2	2.0	
		ゆたか苑	2	0	0	0	2	2.0	2	0	0	0	2	2.0	
ひかり苑		1	0	0	0	1	1.0	1	0	0	0	1	1.0		
小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能 居宅介護センター	4	1	5	2	12	11.4	4	0	3	4	11	0.8		
公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	訪問介護養成研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
高齢者施設計			222	75	63	125	485	434.1	219	65	67	127	478	418.9	

グループ名	種別	施設名	平成26年3月31日					25年度	平成25年3月31日					備考	
			正規職員	臨時職員			職員数合計	(年間勤換平均)	正規職員	臨時職員			職員数合計		(年間勤換平均)
				契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B			
障害者支援系	障害福祉サービス	さやま園	48	15	0	24	87	77.8	46	13	1	22	82	69.4	
		小茂根福祉園	29	4	0	4	37	34.7	28	6	0	2	36	36.4	
		立川福祉作業所	10	4	0	18	32	24.2	11	3	0	16	30	21.1	調理委託
		東村山生活実習所	11	5	0	12	28	23.2	12	5	0	9	26	22.4	調理委託
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	10	2	0	8	20	15.2	10	2	0	8	20	15.1	調理委託
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	19	0	0	22	41	26.7	20	0	0	15	35	25.2	
	共同生活介護・共同生活援助事業(知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		グリーンハイツ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		フレンズ・モエ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		パル	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		それいゆ小川	—	(2)	—	—	0	—	—	(2)	—	—	0	—	
		ファーム竹丘1	—	(2)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		ファーム竹丘2	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		レジオンス巣鴨	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		はなみずき	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		ユーカリ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		夢オハナ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
	結オハナ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—		
	障害者施設設計			127	30	0	88	245	201.8	127	29	1	72	229	189.6
児童・女性支援系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	7	4	0	2	13	11.2	7	2	0	2	11	8.9	
		サンライズ青山	7	2	0	7	16	11.2	8	1	1	7	17	10.5	
		サンライズ万世	6	5	0	4	15	12.7	7	3	0	5	15	12.1	
	児童養護施設(地域小規模)	双葉園	21	6	1	6	34	37.8	20	7	1	8	36	36.8	
		高嶋の家	2	2	0	0	4		3	0	0	0	3		
		くすのき	4	0	0	0	4		2	0	1	0	3		
	婦人保護施設	いこいの家	8	3	0	4	15	13.6	9	2	0	8	19	14.7	調理委託
	児童厚生施設	昭島市児童センター ぱれっと	2	0	0	9	11	7.8	1	1	0	10	12	8.2	
	放課後児童健全育成事業	つつじが丘北学童クラブ	0	0	0	5	5	3.5	0	0	0	5	5	3.4	
児童・女性施設設計			57	22	1	37	117	97.8	57	16	3	45	121	94.6	
施設合計			603	148	72	386	1,209	1,036.2	598	132	81	393	1,204	1,007.0	
医療	病院	昭島病院	187	0	0	145	332	259.7	196	0	0	136	332	255.8	
		訪問看護ステーション	4			2	6		4			3	7		
収益	印刷	事業局	12	0	0	2	14	14.0	12	0	0	2	14	14.0	
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計			806	148	72	535	1,561	1,309.9	810	132	81	534	1,557	1,276.8	

注1 嘱託医等の業務委託や派遣職員は算入していない。

注2 共同生活介護・共同生活援助の職員配置は、委託事業のため職員数および常勤換算には含まない。

注3 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、

非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員。

なお、昭島病院(訪問看護ステーション含)では正規職員の所定時間は1日7時間42分(週40時間)となっており、

非常勤で1日の労働時間が最長でも7時間30分であるため、非常勤職員全員が非常勤Bに該当する。





## 二 事 業 経 営

### 1 保育支援系福祉サービスの経営

保育所を経営しました。

#### 【グループ総括】

- 1 年度当初より、待機児解消のため弾力入所を積極的に行いました。また、大山保育園建替えに伴い、仮園舎への移行も順調に進みました。
- 2 育児困難家庭、要配慮児への対応等、保育所の果たす役割を十分に発揮しながら、保護者支援をするとともに、専門機関との連携・協同を図りました。
- 3 地域の子育て支援の拠点として、子育て力の向上を目指し、情報や場所の提供に努めました。あわせて子育て相談の内容に応じて専門機関の紹介等も行いました。
- 4 8園が第三者評価利用者アンケートを実施し、保護者の意見を十分受け止め、多様な保育サービスの提供や充実に繋げました。
- 5 保育士採用が困難となるなか、チューター制度等により定着と質の向上に努め、法人内研修、グループ研修、園内研修、園外研修等へ積極的に参加し、一人ひとりに合った人材育成に取り組みました。
- 6 防災については、震災対応のBCPにもとづく訓練を行い、備蓄品の補充、マニュアルの整備を行い、園児の安心、安全に努めました。
- 7 「子ども子育て支援新制度」の成立をふまえ、積極的に研修に参加するとともに、情報収集を行いました。

## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 むさしの保育園

定員

169名

利用者 年間稼働率 100.0%

### 【施設運営状況】

- 1 各年齢の定員増を図り、安定した運営を実施することが出来ました。また新規事業を実施する中で、一時保育・子育て支援事業等を利用する保護者が増え、新たな保育サービスの提供が出来ました。
- 2 保育園と地域とのつながりを大切にしながら、各種イベントへ積極的に取り組み、また地域の人達に利用していただきながら、保育園としての役割を広め事業を展開しました。
- 3 育児困難家庭、要配慮児への支援については、専門機関との連携をさらに深め、情報の提供・共有を図りながら対応に努めました。
- 4 職員一人ひとりの資質向上を図るため、年間を通して継続した園内研修を実施し、各自が意識改革に取り組むための基礎を養い、現場に活かせるよう努めました。
- 5 「子ども子育て支援新制度」について、行政説明会報告や杉並区想定スケジュール等について周知して職員間での共有を図るとともに、今後の動向に注目するよう努めました。

### 【利用者支援状況】

- 1 縦割り保育の中で、子どもが自主的に異年齢児とかかわれるよう、行事を計画したり、保育環境を整えました。
- 2 子どもたち一人ひとりが、いきいきと充実して過ごせるよう、個性・発達を大切にし、自発的・意欲的に活動できるよう取り組みました。
- 3 年齢に応じた園庭遊びや、散歩を設定するなど、子どもたちの体力向上、健康な体づくりに向け取り組みました。
- 4 びよびよクラブ、育児講座などについて、内容を充実させることにより、子どもと揃って参加する地域の方が増えました。また継続参加の方も増え、地域の方同士のコミュニケーションも深まりました。
- 5 地域との交流、世代間の交流の機会を多く持つことにより、豊かな心や、道徳、公共でのマナーについて、多く経験することが出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
はぐくむ保育用PC他更新	1,639	駐輪場工事	242
システムプール購入	2,250	五月人形購入	400
駐輪場安全対策	700		
五月人形購入	500		
購入等合計	5,089	購入等合計	642
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
園庭遊具設置	5,000	プール購入	1,239
購入等合計	5,000	購入等合計	1,239
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
分) テラス補修	680	分) テラス・フェンス補修	620
分) フェンス補修	530		
購入等合計	1,210	購入等合計	620
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
コピー機購入	1,000	コピー機購入	624
		はぐくむ保育PC他更新	1,784
		倉庫設置	587
		おもちゃ収納庫	1,082
購入等合計	1,000	購入等合計	4,077

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	91	91	91	92	91	90	91	91
女児	78	78	78	77	78	79	78	78
合計	169	169	169	169	169	169	169	169

12月	1月	2月	3月	計
90	90	90	90	1,088
78	79	79	79	939
168	169	169	169	2,027

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	21	29	35	26
平成24年度	21	29	34	27
平成25年度	23	32	34	27

4歳児	5歳児	計
24	25	160
27	25	163
28	25	169

## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷保育園

定員

100名

利用者 年間稼働率 115.2%

### 【施設運営状況】

- 1 昨年に比べ幼児の入所が少なく引越しによる退園もあったため稼働率は低くなりましたが、乳児については待機児解消に努めることができました。
- 2 要配慮児への支援として、個々の対応とともに専門機関との連携を図り情報提供や保護者に対する支援にも努めました。
- 3 第三者評価利用者アンケートを行い、昨年よりも高い回収率と満足度となり、保護者一人ひとりのご意見も十分受け止めて保育サービスの充実に努めました。
- 4 地域に向けて子育て情報の発信や園行事、育児講座など園の持つ専門性を発揮出来ました。また、高齢者施設との交流を行事以外でも出来ました。
- 5 職員の資質向上に向け、園内外の研修を受けるとともに、園の方針を再確認し実行出来るよう保育内容の充実に努めることが出来ました。

### 【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの成長発達に合わせた保育と自主的に取り組める環境により、園児の集中力や根気が養われいきいきと過ごせました。
- 2 家庭的な雰囲気の中で、保健活動、食育活動行ない、安全、健康に対する知識、命や安全について関心が持てるようになりました。
- 3 縦割り保育で異年齢児との関わり、また地域の方々、高齢者と交流する中でやさしさや思いやりの気持ちが育ち、幼児だけでなく乳児も関わる事が出来ました。
- 4 運動能力の向上を目指して、毎日体操や定期的な運動を取り入れることが出来、乳児も運動量が増えました。
- 5 保護者が直接園に対して意見が言える雰囲気になってきており、保護者からのご意見をもとに必要なことは検討することが出来、改善が進みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
保育支援システムパソコン	960		
購入等合計	960	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
電動式テント設置	1,528	電動式テント設置	1,528
購入等合計	1,528	購入等合計	1,222
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
壁紙張替	800		
購入等合計	800	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
食器洗浄機	1,309	壁紙 保育支援システムパソコン	1,166 839
購入等合計	1,309	購入等合計	2,005

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	63	63	63	63	63	63	64	65
女児	51	51	51	51	51	52	51	51
合計	114	114	114	114	114	115	115	116

12月	1月	2月	3月	計
65	65	65	65	767
51	51	51	51	613
116	116	116	116	1,380

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	11	16	22	22
平成24年度	11	15	22	23
平成25年度	11	16	23	24

4歳児	5歳児	計
27	21	119
21	26	118
24	18	116

## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 大山保育園

定員

122名

利用者 年間稼働率 102.6%

### 【施設運営状況】

- 1 入所状況は、弾力で2名の受け入れを含め月平均124名で、稼働率102.6%と安定した運営ができました。
- 2 園舎建替えに伴い、仮園舎への引っ越し等もスムーズに終わり、仮園舎で安全に留意しながら保育を進めました。
- 3 高齢者施設訪問、また高齢者が来園して絵本を読み聞かせていただくなどの交流を行いました。また公園にいる親子を誘い、出前保育を積極的に行いました。
- 4 職員育成計画に基づき、チュータ制度の活用や研修への参加を通じて、職員のスキルアップに努めました。
- 5 第三者評価の利用者アンケートを行いました。アンケート回収ボックスの工夫により前回より回収率が向上した結果、保護者の意見を反映した保育サービスに努めることができました。

### 【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの成長に合わせた支援をすることで子どもの成長に繋げることができました。また「たくましく生きる力」を目標に保育内容の充実を努めました。
- 2 家庭と保育園が連携を密にして、子どもの成長に繋げるとともに互いの信頼関係が築けるよう努めました。また園舎建て替えに伴い仮園舎に於いても園児の安全確保に努めました。
- 3 子どもたちの運動機能の低下を防ぐために、親子ウォーキング・散歩・じゃれつき遊び・10分間体操を継続し体力向上に努めました。育児講座では、親子で体を動かす機会を持ってもらうために、地域の親子にも参加を呼び掛け成果に繋がりました。
- 4 近隣の大学生や中学生のボランティア及び実習生を積極的に受け入れ、子どもとの交流の場としました。その結果、お互い刺激となり良い成果に繋がりました。
- 5 研修計画に基づき職員の育成・質の向上を図り保護者の支援に繋がりました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
ノートパソコン	800		
購入等合計	800	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
はぐくむ設置工事	800		
運搬料	800		
購入等合計	1,600	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
解体工事費	16,480	はぐくむ設置料	759
本体工事	17,850	運搬料	850
設計監理料他	12,498	パソコン	719
		解体・本体・設計監理料	24,286
購入等合計	46,828	購入等合計	26,614

## 年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	73	73	73	72	74	74	74	74
女児	50	50	51	50	49	49	51	51
合計	123	123	124	122	123	123	125	125

12月	1月	2月	3月	計
74	74	74	74	883
51	51	51	51	605
125	125	125	125	1,488

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	12	20	21	24
平成24年度	12	20	21	24
平成25年度	12	20	21	24

4歳児	5歳児	計
23	24	124
24	24	125
24	24	125



## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷第二保育園

定員

190名

利用者 年間稼働率 101.8%

### 【施設運営状況】

- 1 利用者の権利を尊重しながら専門的知識と技能を活かし、保育所の役割を果たしました。また、育児困難家庭が増えるなか専門機関と連携し、保護者、地域の育児支援に努めました。
- 2 年度当初より入所定員の弾力化を行い、3月は定員より8名増で内0歳児7名増の31名を受託し、特に3月は月間平均利用率104.7%になり待機児解消に努めました。
- 3 新園舎使用1年目にあたり、安全衛生対策の充実を図るとともに、日常の保育や行事などでは園児の安全と保護者満足に努めました。また、第三者評価利用者アンケートを実施し多様な保育サービスの提供に努めました。
- 4 地域に根づく保育園を目指し、地域の未就園児対象に園庭開放「ちびっこひろば」を行ったほか、地域の市民祭りや産業祭りに参加、日頃行っている保育を活かし、地域の方々との交流を行いました。
- 5 職員育成計画に基づき、チューター制度、研修の充実を図り職員育成に努めました。また「子ども子育て支援新制度」の成立をふまえ、研修に参加するなど情報収集に努めました。

### 【利用者支援状況】

- 1 新園舎での保育1年目にあたり、BCPに基づく訓練やマニュアルの整備を進めるほか、安全で衛生的な環境のもと子どもの動線やルールを見直し、園児の安全確保に留意し保育を行いました。
- 2 園舎内の活動や散歩、運動遊びにより、子どもの運動量を増やし、たくさんの経験や体験、伝統行事やお茶などの文化の伝承から生きる力の基礎を育て、豊かな心を持った健康でたくましい子どもの育成を目指しました。
- 3 子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの発達に合わせた保育を行うとともに、保育士等の適切な言葉がけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、自分で判断できる子どもの育成に努めました。
- 4 保育園に蓄積された保育・保健・栄養等のノウハウを活かし、子どもたちが安心して過ごせるように努めました。また、異年齢と過ごすことにより、援助しあいながら、思いやりの心を育てる保育に努めました。
- 5 地域のご老人とともに畑作りを行い、じゃがいもやさつまいも、夏野菜の栽培、収穫を楽しみ、収穫した野菜を調理するなど食育活動に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
		園庭固定遊具設置	980
購入等合計	0	購入等合計	980
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
園庭固定遊具設置	1,150	複合機購入	630
購入等合計	1,150	購入等合計	630
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
複合機購入	1,200		
購入等合計	1,200	購入等合計	0

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	89	92	94	95	94	93	90	93
女児	96	98	100	98	98	99	101	102
合計	185	190	194	193	192	192	191	195

12月	1月	2月	3月	計
92	95	94	96	1,117
102	103	103	102	1,202
194	198	197	198	2,319

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	24	32	36	33
平成24年度	24	30	32	36
平成25年度	31	32	37	30

4歳児	5歳児	計
36	30	191
32	36	190
36	32	198

## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員

**70**名

利用者 年間稼働率 **103.4**%

### 【施設運営状況】

- 1 100%を超える稼働率を保ち、安定した運営ができました。
- 2 保護者への対応や「気になる子」への支援など、専門的な知識や技術を園内外の研修を通して学び、保育に役立てることができました。
- 3 利用者アンケートを実施し、園の課題を明確にすることで、職員間での意識統一が図れ、課題改善に対する取り組みができました。
- 4 地域の方々に向けて取り組んでいる和太鼓指導は、好評を得ていますが、区の施設を借りることが難しい状態になってきています。保護者同士の交流の場ともなっているので、会場を確保するための取り組みが課題となっています。
- 5 子ども・子育て支援新制度についてや都検査についての説明会に積極的に参加し、状況の変化を把握して運営できるように努めました。

### 【利用者支援状況】

- 1 各会議で情報の共有化を図り、職員が同じ目線で保育ができるように努めました。また、連続性のある保育を継続できるよう保育課程の見直しをしました。
- 2 子どもの主体性を大切に、なるべく多くの体験・経験ができるようにカリキュラムを設定した結果、保育目標である「自分で考えて行動する」姿がみられるようになりました。
- 3 小規模園の特性を活かし、子どもの育ちの支援はもとより、保護者の就労支援、育児相談等、アットホームな雰囲気作りを心がけたことで、保護者からの相談がより増えてきました。
- 4 近隣の消防署・警察署との訓練を行い、園の課題や危機対応に関するノウハウを職員全員で学ぶことができました。また、BCPを作成し、それに添った訓練を行いました。
- 5 昨年度に引き続き、保護者の保育参加を積極的に呼びかけ、子どもの育ちや園での姿を見ていただき、保育園への理解に繋がられるよう努めました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
ノートパソコン×6	810	コピー機	1,030
コピー機	1,030		
エアコン×2	770		
購入等合計	2,610	購入等合計	1,030
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
厨房ダクト取り付け工事	2,710	エアコン×2	784
		調乳室床下工事	113
購入等合計	2,710	購入等合計	897
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)			
調乳室床下工事	2,500	はぐくむ保育用パソコンシステム入替	718 943
購入等合計	2,500	購入等合計	1,661

## 年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	40	39	39	39	38	38	38	38
女児	33	34	34	34	34	34	35	33
合計	73	73	73	73	72	72	73	71

12月	1月	2月	3月	計
39	39	39	39	465
33	33	33	33	403
72	72	72	72	868

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	7	11	13	14
平成24年度	7	11	12	15
平成25年度	7	11	13	14

4歳児	5歳児	計
14	12	71
13	14	72
14	13	72

## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 **同援みどり保育園**

定員

**125**名

利用者 年間稼働率 **104.3**%

### 【施設運営状況】

- 1 昨年度同様に定員の弾力化を行い、待機児解消に努めました。年間を通して安定したサービスの提供に努めました。
- 2 子どもたちが安心・安全で快適な園生活ができるように、施設整備や防災マニュアルの整備などに努め、様々なリスクを想定した訓練や体験をする機会を設けました。
- 3 地域の未就園児を持つ保護者に対して様々な「楽しい経験」を提供して、「保育園での生活」を紹介いたしました。また、地域のニーズや子育てに関する悩みを把握する育児相談を通じて地域支援を致しました。
- 4 保護者の就労支援のみならず「育児困難家庭の支援」が、昨年にも増して大きな課題となりました。必要に応じて専門機関と連携して、保護者の育児不安や育児力低下のサポートに努めました。
- 5 利用者アンケートの意見や要望を十分受け止めて保育サービスの見直しに努めました。また、保育士がここ数年定着していることから保護者の信頼が得られ、保育の質の向上に繋がりました。

### 【利用者支援状況】

- 1 成長・発達にあった集団ならではの遊びを多く取り入れ、子どもたちの、友達を認め合う気持ちや人との支え合いを大切にしたい保育に心がけました。
- 2 保育環境を見直し施設整備に努めました。特に1歳児保育室床暖房工事やトイレ改修工事は、園児のみならず保護者・職員にも良い評価をいただきました。また、ここ数年取り組んでいた園庭改修計画の締めくくりとして、木製総合遊具を設置し子どもたちに喜んでもらえました。
- 3 行事等で子どもたちが自然に「異年齢児とかかわる姿」から縦割り保育の素晴らしさも保護者に伝えることができ良い評価をいただきました。また、地域の老人施設等積極的に訪問し交流を深めることができました。
- 4 「運動能力の向上」を目指して日々運動遊びを取り入れ、また運動が苦手な子どもにも働きかけ健康な身体づくりが出来るようになりました。また、難しい動きに挑戦し達成することで、子ども達に自信が生まれました。
- 5 長時間保育の利用が多いため、出来るだけ担任と保護者が直接話をする機会を多く作ることで、保護者との間のコミュニケーションが良くなりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
1歳児保育室床暖房設置	3,200	監視カメラ	672
監視カメラ設置	700	1歳児保育室床暖房設置	2,820
		4歳児エアコン設置	488
購入等合計	3,900	購入等合計	3,980
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
総合遊具(すべり台)	5,000		
4歳児エアコン取替	700		
購入等合計	5,700	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
1・2歳児トイレ改修工事	5,500	駐輪場門扉設置	523
購入等合計	5,500	購入等合計	523
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		木製総合遊具	3,880
		1・2歳児用トイレ改修工事	5,210
		物置	698
購入等合計	0	購入等合計	9,788

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	68	71	69	70	70	70	70	70
女児	62	59	60	60	60	60	60	60
合計	130	130	129	130	130	130	130	130

12月	1月	2月	3月	計
70	70	70	70	838
60	60	60	60	721
130	130	130	130	1,559

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	12	19	24	25
平成24年度	12	21	24	25
平成25年度	12	19	24	25

4歳児	5歳児	計
25	24	129
25	25	132
25	25	130

## 平成25年度 事業報告書（保育所）

施設名 つつじが丘保育園

定員

110名

利用者 年間稼働率 120.3%

### 【施設運営状況】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、専門的な知識や技能を生かし、保育所の役割を果たしました。保育困難児の対応については、職員研修等を活かし一人ひとりに合わせた対応を行うとともに、専門機関と連携して子育て支援に努めました。
- 2 保育園を核として様々な機関や組織と連携し、地域の子育て支援及び就労支援の充実に努めました。
- 3 待機児童解消に向け、年度当初より積極的に受け入れを行いました。又一時保育の希望数も多く、保護者のニーズに出来るだけ応え、受け入れるようにしました。
- 4 職員育成計画、チューター制度及び研修の充実を図りました。職員が日々研鑽できる職場環境を作るとともに実際の保育に生きる研修を行うことに努め、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材育成を目指しました。
- 5 子ども・子育て支援新制度の動向に注目し、情報収集や学習会に参加し、変化に応じた対応が出来るよう職員皆で情報を共有しました。

### 【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や家庭環境を把握して生活リズムを整えると共に、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指しました。
- 2 日々の保育や様々な行事の中に実体験を通した色々な活動を取り入れることで、子どもの生きる力や感謝の気持ちを育てました。
- 3 生活や遊びの中で体験したことを表現活動にもつなげ、それを楽しめるようにすることで、子どもたちの豊かな感性を育みました。
- 4 縦割り保育の中や近隣の保育園・小学校との触れ合いを通して、子どもたちが共に生活し、互いに関わりながら、優しさや思いやりの気持ちが育つように援助しました。
- 5 安心・安全な園生活が出来るよう、「子どもたちにとって」という目線で環境整備を行い、子どもたちが明るく生き生きと過ごせる環境作りに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
電話構内交換設備	1,200	電話構内交換設備	999
購入等合計	1,200	購入等合計	999
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
便座交換・トイレ汚物 洗い場改修	1,000		
購入等合計	1,000	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
乳児ロッカー改修	2,300		
購入等合計	2,300	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
保育室ドア修理	1,800	便座交換・トイレ汚物 洗い場改修	2,489
		コピー機購入	631
		食器洗浄機購入	670
		調理室排水管取替修理	1,843
		はぐくむ保育用パソコン	1,036
購入等合計	1,800	購入等合計	6,669

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	56	58	58	58	58	58	58	58
女児	73	74	74	74	74	74	74	74
合計	129	132	132	132	132	132	132	132

12月	1月	2月	3月	計
58	58	58	58	694
74	74	74	74	887
132	132	132	132	1,581

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	21	22	22	22
平成24年度	20	24	23	23
平成25年度	20	21	24	22

4歳児	5歳児	計
22	22	131
22	22	134
23	22	132



施設名 同援さくら保育園

定員 108名

利用者 年間稼働率 112.0%

【施設運営状況】

- 1 待機児解消のため、弾力入所を積極的に行いました。また、特別保育事業も年間を通して安定したサービスの提供を行いました。
- 2 職員による園の自己評価や利用者アンケートの意見を受けて園の運営・保育を振り返り、懇談会や園便り等を通じて園の方針や改善状況を伝えていき、園運営の理解につなげていきました。
- 3 一日保育士体験やお父さんのための育児講座を2回行ったことで、今まであまり積極的ではなかった父親と関わる機会が増え、保護者の育児力向上や育児参加のきっかけづくりとなりました。
- 4 計画的な研修の参加、園内研修の実施や3年計画の継続的なチューター制度により、職員の質の向上に努めました。
- 5 「子ども子育て支援新制度」に関する研修への参加や情報収集を行いました。これを職員間で共有するとともに、今後の動向に注目し理解を深めていきます。

【利用者支援状況】

- 1 一日保育士体験を取り入れたことで、保護者が子どもやクラスの状況をより知ることができ、「たくましいこころと身体づくり」という園として大切にしていることへの理解につながりました。
- 2 日々、他クラスの異年齢児、複合施設の高齢者、地域や他園の子どもたち等、様々な人との関わりを持つ中で相手をいたわる気持ちや思いやりの気持ちを感じることで、こころの豊かさを育てました。
- 3 年齢発達に応じた保育環境や様々な活動を提供する中で、一人ひとりの情緒の安定を図り、また集団ならではの遊びや継続した運動遊びを行うことで、子どもたちが自信を持ち意欲的な姿が見られました。
- 4 計画的な園内外の研修の実施・参加の成果を日々の保育に活かしていきました。また、幼児クラスを中心に表現活動の具体的なカリキュラムを作成したことで、継続的に楽しい活動を提供することができました。
- 5 安心・安全な園生活ができるよう環境整備や災害時の具体的な対応等を訓練の中に取り込むことで、マニュアルの見直しや職員の共通理解を図りました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
防犯カメラ取付	1,250	防犯カメラ設置	1,250
はぐくむパソコン取替え	670	電話主装置・電話機取替え	659
全保育室ドア鍵取替え	511		
購入等合計	2,431	購入等合計	1,909
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
2歳児環境備品	822	2歳児環境備品	531
作品展示レール	578		
購入等合計	1,400	購入等合計	531
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
床補修(幼児保育室 廊下)	1,676	床補修(幼児保育室 廊下)	1,669
購入等合計	1,676	購入等合計	1,669
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		保育室ドア鍵取替え	510
		はぐくむパソコン	513
購入等合計	0	購入等合計	1,049

## 年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	58	58	58	58	58	58	58	58
女児	63	63	63	63	63	63	63	63
合計	121	121	121	121	121	121	121	121

12月	1月	2月	3月	計
58	58	58	58	696
63	63	63	63	756
121	121	121	121	1,452

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成23年度	15	20	20	21
平成24年度	15	20	20	22
平成25年度	15	20	21	23

4歳児	5歳児	計
22	20	118
19	22	118
19	23	121

## 2 高齢者支援系福祉サービスの経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営しました。

### 【グループ総括】

- 1 地域自治会や民生委員等との連携を深め、一人暮らし高齢者の相談や生活支援の他、家族向け介護講習会などを積極的に行い、地域の拠点施設としての役割に努めました。
- 2 優秀な人材を確保するとともに、利用者の立場に立ち、「個人の尊厳」や「一人ひとりに応じた自立支援」のできる貢献度の高い福祉人材の育成を目指し、初任者研修事業の開講に向けた準備を行いました。
- 3 質の高いサービスを提供するため、積極的に第三者評価機関等による情報開示や多くのボランティアの導入を行い、法令を遵守し施設運営を行いました。
- 4 社会福祉法人としての役割を担い、地域ニーズに即した小規模多機能型居宅介護事業に加え、グループホームやデイサービスセンター、地域交流室を備えた高齢者複合施設を開設、新規事業展開に努めました。
- 5 新人研修やフォローアップ研修をはじめ、援助技術向上のためのグループ研修や介護職員交換研修の他、各施設が介護職員の技術向上のための研究を行い、グループ全体のサービスの向上に繋げることができました。
- 6 健全経営を目指して、管理費や委託費の見直しや消耗品、介護用品の選定を行いました。これによりコスト削減に繋がりました。
- 7 東京都経営支援事業及びサービス推進費の各種加算の算定が可能となるような体制作りを行い、収支バランスの改善に努めました。

#### 1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護しました。

#### 2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与しました。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されています。

#### 3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行いました。

#### 4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給に係る方等を養護しました。

#### 5 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行いました。

#### 6 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障があり、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

#### 7 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行いました。

#### 8 小規模多機能型居宅介護事業

小規模多機能型居宅介護事業は、平成18年4月から始まった地域密着型サービスのひとつで、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供しました。

#### 9 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、いろいろなサービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行いました。介護支援専門員(ケアマネージャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成し、その他の介護に関する専門的な相談に応じました。

平成25年度 事業報告書（養護老人ホーム）

施設名	万世敬老園	定員	200名			
利用者	年間稼働率	100.5%	平均年齢	79.7歳	(最高	97歳)
				(最低	61歳)	
	男女比率	11対9				
	平均在所期間	7.9年	(最長	26.7年)		
	年間入所	25名				
	年間退所	28名				
	主な入所理由	独居、帰来先なし、被虐待、貧困				
	主な退所理由	死亡、他施設（特養）への入所、長期入院				

【施設運営状況】

- 1 新しい養護老人ホームの処遇課題である利用者の入所措置理由の解消改善に向けての研究をし、東社協並びに老施協で、研究発表をしました。
- 2 生活困窮者の背景が多様複雑化し、養護対象者の枠が広がったが、稼働率の充足と支援の向上を目標に、積極的な受入れを行いました。
- 3 施設の老朽化は、防災対策を第一とし、エレベータ自動着床工事、飛散防止フィルムの設置を行ないました。日常生活では、大浴場のボイラー交換、空調機の交換を個別に行いました。
- 4 地域での活動や活躍が覚束ない利用者が増え、また地域での迷惑行為も増えてきました。健全な生活づくりを目標として地域活動や問題解決に取り組みました。
- 5 稼働率を充足しつつ、改築等の構想を目標に節約をし、適切な予算執行をしました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者本位を尊重し、利用者自らが主体的に考え行動できるよう、自立生活への支援を行いました。
- 2 支援や処遇の専門性を活かし、利用者自身の措置理由の解消に取り組みました。
- 3 防災対策及び老朽化による更新工事や補修工事を行ない、生活環境を整えました。
- 4 利用者には、地域や園生活に主体的に帰属感や責任感をもって活躍できる場面を設定しました。
- 5 介護が必要な状態になっても、出来る限り本園での生活が続けられるよう、支援の範疇を広げ、安心した生活を送れるよう取り組みました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
大浴場タイル漏修理	645	中庭出入口設置	987
防災フィルム他防災品	540		
中庭出入口設置	911		
食堂トイレ改修	1,134		
購入等合計	3,230	購入等合計	987
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
エレベーター自動着床	7,000	大浴場ボイラー入換	6,667
購入等合計	7,000	購入等合計	6,667
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
大浴場ボイラー入換	8,500	防災フィルム他防災品	349
		大浴場タイル漏修理	212
購入等合計	8,500	購入等合計	561
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		エレベーター自動着床	4,999
		食堂トイレ改修	854
購入等合計	0	購入等合計	5,853

## 年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	111	111	110	112	112	112	112	112
女性	90	91	90	90	90	90	91	90
合計	201	202	200	202	202	202	203	202

12月	1月	2月	3月	計
111	112	113	113	1,341
90	89	87	89	1,077
201	201	200	202	2,418

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成23年度	200	4	17	40	61	38	24	16
平成24年度	201	3	17	36	53	42	32	18
平成25年度	202	2	14	31	56	46	32	21

## 平成25年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	サンホーム	定員	50名			
利用者	年間稼働率	100.0%	平均年齢	83.28歳	(最高	97歳)
					(最低	68歳)
	男女比率	9対16				
	平均在所期間	5.96年	(最長	17年)		
	年間入所	5名				
	年間退所	5名				
	主な入所理由	住宅事情				
	主な退所理由	他の老人ホームへの入所				

### 【施設運営状況】

- 1 利用者の年間入退所は5名であり特養等への移動がほとんどであったが稼働率は100%を維持できました。居宅支援事業所、包括支援センターへの情報開示、地域への施設開放等により利用率向上に今後も努めます。
- 2 地域へ向けての雑学交流を発展させ、さまざまな知識を地域の方々と学びあえるよう地域の専門家に来ていただき講演、交流を実施し施設理解に繋がりました。
- 3 第三者評価は今年度も実施し、職員資質の向上と利用者満足へ向けての対応を行いました。サンホームだよりを改善し地域、家族に向けて広報、情報開示の役割を充実できました。
- 4 研修等を通して職員個々の資質向上に努めると共に、研修報告会を実施し、施設の知識共有と資質向上に努めました。
- 5 ケアプランの内容検討に努めながら、より利用者の意見や考えが反映したものとなるよう個別の話し合いを深めながら取りまとめを行い職員間でも内容を深めました。

### 【利用者支援状況】

- 1 感染症まん延予防のため、知識と実践力の向上に努めました。
- 2 介護予防プランを利用者・職員で作成し、その人らしく生活ができる様、御家族にも協力をお願いし支援しました。
- 3 近隣施設、地域住民と交流をするなかで、社会の一員である機会を設け、社会参加に繋がりました。
- 4 運動プログラムの中に、認知症予防への取り組みを加え、介護予防の大切さを発信しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
防災飛散防止フィルム	1,600	防災飛散防止フィルム	1,554
サークル室椅子	1,150	防災倉庫	597
購入等合計	2,750	購入等合計	2,151
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
エレベーター補修	500		
購入等合計	500	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
冷温水機補修	1,000	冷温水機補修	420
		冷蔵庫	579
購入等合計	1,000	購入等合計	999
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
館内電灯交換工事	3,720	館内電灯交換工事(LED)	441
		コピー機	640
購入等合計	3,720	購入等合計	1,081

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	16	16	16	16	16	16	17	17
女性	34	34	34	34	34	34	33	33
合計	50	50	50	50	50	50	50	50

12月	1月	2月	3月	計
18	18	18	18	202
32	32	32	32	398
50	50	50	50	600

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成23年度	50	0	2	2	8	18	12	8
平成24年度	50	0	2	2	9	15	15	7
平成25年度	50	0	1	4	9	13	18	5



平成25年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	ライトホーム	定員	50名			
利用者	年間稼働率	67.8%	平均年齢	81.08歳	(最高	69歳)
					(最低	92歳)
	男女比率	3対16				
	平均在所期間	10年	(最長	24年)		
	年間入所	9名				
	年間退所	4名				
	主な入所理由	虐待一時保護				
	主な退所理由	地域移行 住み替え				

【施設運営状況】

- 1 利用者の意見、要望を受けるために、外部評価機関の第三者評価を受審し、その結果を事業展開に活用するとともに、情報公開に努めました。
- 2 利用者数の減もありましたが、緊急一時の利用により稼働率は昨年度並みを維持できました。ただし、収支状況は悪化しております。
- 3 日常生活支援においては積極的な見守りに努め、早急に体調の変化に対応してまいりました。
- 4 介護予防に重点をおいた計画の作成を行い、プランについては説明及び文章にてお渡しするとともに適切に見直しを行いました。
- 5 業務改善、施設運営に向けて、職員の育成を行い、マニュアルを利用した教育、外部研修への参加の充実により育成にあたりました。

【利用者支援状況】

- 1 苦情・要望の即時対応をし、苦情件数の減に努めました。
- 2 財務面においては物品購入時の単価比較、その他契約見直し等を行い、取崩額の減に努め、必要な生活環境の整備に努めました。
- 3 地域からの虐待ケースなどの利用を受け入れ、生活の場を提供するとともに、地域包括と共同し生活再建に向けた支援を行い、退去される利用者へのアフターフォローにも努め、個人、家族、関係機関との連携に努めました。
- 4 重度加算対象者への対応を行い、日々の生活がより安心して営めるよう支援してまいりました。また、介護予防にも積極的に取り組み致しました。
- 5 地域との関わり、介護予防面において、外部の情報や活動を提供するとともに会場の案内をすることで、利用者の自主的な参加が増えました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	4	5	5	5	6	6	7	7
女性	28	27	27	27	27	27	28	28
合計	32	32	32	32	33	33	35	35

12月	1月	2月	3月	計
6	6	6	6	69
28	30	32	32	341
34	36	38	38	410

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成23年度	36	0	1	3	8	9	12	3
平成24年度	32	0	1	4	6	8	9	4
平成25年度	38	0	0	9	5	8	12	4

## 平成25年度 事業報告書（救護施設）

施設名 **昭島荘** 定員 **100**名

利用者 年間稼働率 **100.1**% 平均年齢 **66.6**歳 （最高 **88**歳）  
（最低 **39**歳）

男女比率 **52対48**

平均在所期間 **17.3**年 （最長 **54.7**

手帳保持者 **92**名

（愛の手帳18名、身障手帳22名、左記両手帳 6名、精神障害保健福祉手帳56名）

年間入所 **9**名

年間退所 **9**名

主な入所理由 **精神科病院・更生施設・援護寮**

主な退所理由 **長期入院・死亡・有料老人ホーム**

### 【施設運営状況】

1 多様な障害者を受け入れ、セフティネットの機能を果たしました。

2 非常誘導設備の交換により安全に努めました。

3 支援システムによる金銭管理業務・情報伝達に努めました。

4 介護技術実践内部研修により介護の質を高めました。

5 接遇について、特に「人権」に関する研修に職員を参加させました。

### 【利用者支援状況】

1 平均年齢66.6歳。疾病等による機能低下の利用者が増加してきました。

2 精神疾患者の入退院が多く、医療機関との調整が頻繁にありました。

3 支援全般に係わる重点項目を「個別支援計画書」に反映させました。

4 日中活動の充実を図るため、利用者の嗜好や希望に留意した園内行事や外出活動を行いました。

5 一時入所事業を行いました。本年度利用日数は延べ58日でした。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
食堂用椅子	1,260	誘導灯設備リニューアル工事	2,478
行事使用折り畳みイス	1,449	行事使用折り畳みイス	1,449
居室天井部塗装工事	2,067	食堂用椅子	1,260
事務所用机・椅子	1,312		
クローゼット解体撤去	2,408		
購入等合計	8,496	購入等合計	5,187
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
洋室クローゼット解体撤去工事	1,664	本館1階LED	1,955
ナースコール設備工事	2,917	本館非常照明設備工事	2,442
1階トイレ大便器交換	1,283	ナースコール設備工事	2,917
購入等合計	5,864	購入等合計	7,314
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
本館LED設備工事	1,955	作業棟LED設備工事	1,225
作業棟LED設備工事	1,225	2階居室天井部塗装工事	2,067
2階トイレ改修	1,824	2階クローゼット改修工事	3,934
クローゼット解体撤去	1,967		
購入等合計	6,971	購入等合計	7,226
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
本館非常照明設備工事	2,442	洋室クローゼット解体撤去工事	1,484
誘導灯設備リニューアル工事	2,478	1階トイレ大便器交換	1,283
購入等合計	4,920	購入等合計	2,767

利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	52	52	52	52	52	52	52	52
女性	48	48	48	48	48	48	48	48
合計	100	100	100	100	100	100	100	100

12月	1月	2月	3月	計
53	52	51	52	624
48	48	48	48	576
101	100	99	100	1,200

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	100	0	0	0	0	2	1	2	95
平成24年度	100	0	0	0	0	1	2	1	96
平成25年度	100	0	0	0	0	1	2	5	92

施設名	フジホーム	定員	100名		
短期入所	専用	4名	空床利用	6名	
利用者	年間稼働率	94.2%			
	（特養	93.1%	短期入所	123.3%	空床利用含む）
男女比率	2対8	平均年齢	86.8歳		
	（最高	102歳）	平均要介護度	3.8	
	（最低	65歳）			
平均在所期間	4.1年	（最長	19年）		
年間入所	22名				
年間退所	27名				
主な入所理由	在宅介護困難のため				
主な退所理由	死亡				

【施設運営状況】

- 1 ケアプランに基づく利用者本位・個別ケアの徹底をすることで利用者が望む「その人らしい生活」の実現に努力してきました。
- 2 利用者ニーズに応えるべく入所の手続等を迅速に行ってまいりましたが、スムーズには入所に至らず稼働率も目標に届きませんでした。（94.2%）
- 3 ケアプラン会議にご家族の参加を働きかけ、利用者個々の情報を共有することで、支援目標を明確化し、各部署で利用者の状態に合わせたケアを提供してきました。
- 4 専門性のみならず、様々な視点を持てるよう研修・OJTを通して職員の育成に努めてきました。
- 5 栄養士を始め、介護職員の中に係を設け行事、食事、レクリエーション等多様な機会に利用者満足が得られるような環境を提供してきました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の生活暦を深く読みこむことにより、利用者本位に基づいたケアの提供を継続し、また、人権についての職員教育により、自己決定に基づいたサービスを継続提供しました。
- 2 「寄り添う介護」とはどのようなケアなのかを各職員が模索し、議論することによって、ふさわしい介護を試行錯誤してきました。一つではない答えであるがゆえに結果的に職員の介護の創造性を高めることが出来ました。
- 3 きめの細やかなケアを提供するとともにマニュアル委員会や事故予防防止委員会を中心に重度化している利用者に対して、改めて基本的な身体介護の充実を図りました。
- 4 昭島市東部の福祉オピニオンリーダーとして、積極的に地域交流会やボランティア交流会を開催し、民生委員やボランティアの意見交換をしました。
- 5 日本歯科大学の協力のもと、嚥下困難者に対し、口腔内視鏡などの診察を行い、介護から出来るアプローチにアドバイスをしてもらいながら、可能な限り、経口摂取が出来るように努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
非常灯バッテリー交換	1,600		
購入等合計	1,600	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
冷温水ポンプ1号機取替え	700	ガラス飛散防止フィルム	1,500
購入等合計	700	購入等合計	1,500
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
冷温水ポンプ2号機取替え	900	冷温水ポンプ1号機取替え	700
		非常灯バッテリー交換	300
購入等合計	900	購入等合計	1,000
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
ガラス飛散防止フィルム	1,000	冷温水ポンプ2号機取替え	900
購入等合計	1,000	購入等合計	900

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	18	18	18	19	19	19	20	19	18
女性	80	79	81	79	76	77	78	77	78
合計	98	97	99	98	95	96	98	96	96

1月	2月	3月	計
19	17	16	220
78	80	81	944
97	97	97	1,164

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成23年度	99	0	0	6	12	28	19	33	98
	27	10	4	86	619	994	230	365	2,308
平成24年度	99	0	0	3	14	26	19	37	99
	21	0	0	62	410	1,024	144	466	2,106
平成25年度	97	0	0	3	11	21	31	30	96
	19	0	2	78	302	712	586	81	1,761

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

施設名	ニューフジホーム	定員	100名		
短期入所	専用	4名	空床利用	6名	
利用者	年間稼働率	95.5%			
	（特養	94.4%	短期入所	122.7%	空床利用含む）
	男女比率	2対8	平均年齢	87.9歳	
	（最高	100.8歳	平均要介護度	3.87	
	（最低	57.7歳			
	平均在所期間	4.5年	（最長	14.8年）	
	年間入所	14名			
	年間退所	16名			
主な入所理由	自宅介護困難、経済的理由、家族による虐待等				
主な退所理由	死亡、長期入院等				

【施設運営状況】

- 1 入院者の増により、稼働率に大きく影響してしまいましたが、短期入所生活介護の空ベッド利用を積極的におこない稼働率95%台を確保、健全経営に努めることができました。
- 2 利用者の人権を尊重し、利用者個々の状況に応じた生活支援の提供ならびにその質の向上を図るために、昨年度に引き続き間仕切り家具の導入をおこないました。
- 3 社会福祉法人の役割を担い、低所得者の受入も継続的におこないました。
- 4 毎月の施設内研修に産業医の講義を取り入れたり、個人のスキルに合わせた研修会参加をはじめ、研究発表等も積極的におこない人材育成に努めました。
- 5 地域の期待に応えるとともに、医療的ケアを必要とする方をはじめ、介護度の高い利用者、認知度の高い利用者も積極的に受入ました。

【利用者支援状況】

- 1 「全国老人福祉施設研究会議」において「チームケアで褥瘡を治す」をテーマに介護現場の取り組みを発信することができました。このニューフジホームの取り組みが全国で評価され優秀賞を授与されました。更なる褥瘡ケア研究と同時に、次年度もおこなって参ります。歯科衛生士等との連携強化をおこない「アクティブ福祉IN東京2013」において「笑顔は口元から」をテーマに口腔ケアの大切さや重曹による口腔ケアを発信することができました。
- 2 移乗福祉用具を活用し安心して安全な介護に努めました。
- 3 ソフト食の更なる改善の他、「ミキサー粥」から「ゼリー粥」への移行、水分補給のゼリー化等、嚥下機能の低下した高齢者にも安心して食していただける食事提供に努めました。
- 4 データや医学的根拠に基づいた科学的介護の実践を目指した「介護力向上講習会」へ年間を通じて参加しスキルアップを図るとともに、「タクティールケア」の充実、認知症緩和ケアの向上に努めました。
- 5 ボランティアの協力により、寝たきり高齢者への積極的なアプローチをおこない、意識改善に努めることができ個別ケアの向上に繋がりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
空調改修	968		
浴室・居室改修	2,086		
ガラス飛散防止	1,970		
購入等合計	5,024	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
空調改修	968		
居室改修	698		
間仕切り家具	630		
購入等合計	2,296	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
空調改修	968	汚物処理機・冷凍冷蔵庫他	1,610
医務室	1,280	パソコン	456
事務所空調他	827	車椅子用洗面台	578
		居室改修、間仕切り家具	1,147
購入等合計	3,075	購入等合計	3,791
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
トイレ改修	3,843	ガス工事	330
超低床ベット	1,500	浴室改修	1,109
温蔵庫	1,400		
冷凍冷蔵庫	600		
購入等合計	7,343	購入等合計	1,439

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	16	16	16	16	16	16	16	14	14
女性	83	82	84	82	83	85	84	84	83
合計	99	98	100	98	99	101	100	98	97

1月	2月	3月	計
15	14	14	183
83	84	84	1,001
98	98	98	1,184

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成23年度				4	14	22	28	33	101
平成24年度			5	176	513	466	259	156	1,575
平成25年度		18		267	473	363	405	148	1,674
平成25年度		6	22	339	355	386	599	85	1,792

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数



施設名	原町ホーム	定員	50名		
短期入所	専用	2名	空床利用	4名	
利用者	年間稼働率	99.9%			
	（特養	98.0%	短期入所	148.1%	空床利用含む）
男女比率	4対21	平均年齢	87.2歳		
	（最高	106歳）	平均要介護度	4.08	
	（最低	67歳）			
平均在所期間	4.73年	（最長	24年）		
年間入所	13名				
年間退所	13名				
主な入所理由	介護困難				
主な退所理由	死亡				

【施設運営状況】

- 1 特養への入所の迅速化、ショートステイ・地域の居宅支援事業所と連携を強化し、年間稼働率99.9パーセントを達成しました。
- 2 利用者の生活スペースを中心に照明のLED化を進め、より快適な生活環境を提供しました。
- 3 ハプティックケア（認知症緩和ケア）の取り組みを老人施設協議会全国大会で発表しました。
- 4 施設入所者と地域の高齢者が交流する「地域ほほえみ交流事業」を推進し、地域社会への貢献につなげました。また、地元町会、消防署と合同の防災訓練を実施し、地域の一員として意識を高めました。
- 5 第三者評価の受審、施設オンブズマンによる利用者面接を実施しました。またその結果をその後の運営、サービスに活かしました。

【利用者支援状況】

- 1 その人らしい生活のため、アセスメントの充実を図り、ご本人、ご家族とともにケアプランを作成しサービス提供に努めました。
- 2 ご本人、ご家族の意向を十分に汲みとり、看取り介護に取り組みました。
- 3 医療的ケアの拡大に努め、安心して暮らせるサービスを提供しました。
- 4 ハプティックケア（認知症緩和ケア）を精力的に実施し、生活の質の向上につなげました。
- 5 歯科訪問診療の拡大による口腔ケアの充実、耳鼻科訪問診療を開始し、医療面・健康面に対するサポートを充実しました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
		屋上電源設備修繕	1,512
購入等合計	0	購入等合計	1,512
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
館内照明器具工事	1,300	館内照明器具工事	1,300
		送迎用車両購入	3,080
購入等合計	1,300	購入等合計	4,380
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
屋上電源設備修繕	1,800		
購入等合計	1,800	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
エレベーター関係修繕	1,220	エレベーター機能維持工事	397
		汚物処理機	613
購入等合計	1,220	購入等合計	1,010

## 年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	8	8	7	7	8	8	8	7	7
女性	42	42	42	41	41	42	43	42	42
合計	50	50	49	48	49	50	51	49	49

1月	2月	3月	計
8	8	7	91
42	43	43	505
50	51	50	596

## 利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成23年度				4	3	4	14	22	47
		5	0	37	90	159	209	458	958
平成24年度				3	6	4	17	20	50
				40	193	108	212	551	1,104
平成25年度				1	5	3	21	20	50
		0	10	52	146	46	235	592	1,081

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

施設名	ゆたか苑		定員	50名
短期入所	専用	4名	空床利用	4名
利用者	年間稼働率	97.1%		
	（特養	95.8%	短期入所	113.8%
			空床利用含む	
男女比率	1対9		平均年齢	87.4歳
	（最高	101歳	平均要介護度	4.3
	（最低	58歳		
平均在所期間	4.5年	（最長	18年	
年間入所	11名			
年間退所	12名			
主な入所理由	在宅での生活が困難である			
主な退所理由	死去、長期入院による			

【施設運営状況】

- 1 入所の迅速化を目指すとともに老人福祉法による措置入所者を受け入れ利用率向上に努めましたが、短期入所生活介護の利用が伸び悩み、利用率は前年度に比べ1.7ポイント減の97.1%にとどまりました。
- 2 近隣の町会や民生委員等と懇談会を開催し地域の状況やニーズを把握する取り組みを行ったほか、合同防災訓練を実施し大規模災害での協力態勢を確認いたしました。
- 3 「ランチ交流会」「町会の定例会」など施設の地域開放を積極的に行いました。また豊島区と連携し地域住民を対象とした「認知症サポーター研修」を行いました。
- 4 サービスマナー委員会を中心に従事者へのアンケートを定期的に行いました。また虐待防止委員会を新たに設置し待遇の改善に努めました。
- 5 他法人施設への研修派遣を行い、職員のモチベーションアップにつなげました。

【利用者支援状況】

- 1 社会福祉法人の運営する施設としての自覚を持ち、行政と協力し虐待や経済的理由で在宅介護が困難な高齢者を積極的に受け入れました。
- 2 リーダー会議を定期開催しフロア間の業務改善・調整、新人・中堅職員の育成について検討し、利用者サービスの向上やOJTの充実につなげました。
- 3 外出行事では他法人施設と合同で「一泊旅行」を行いました。
- 4 日々の趣味活動やバザーなどの行事では多数のボランティアとともに実施することができました。
- 5 介護実習や小中学生などの職場体験などを積極的に受け入れ、地域の方に介護を身近に感じていただける取り組みを行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
地下エアコン交換	2,400	コンベクションオープン交換	997
床ワックス剥離	500	床ワックス剥離	217
ギャッジベッド	950	ギャッジベッド	950
食堂テーブル	800		
購入等合計	4,650	購入等合計	2,164
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
誘導灯バッテリー交換	400		
購入等合計	400	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
ギャッジベッド	950	ギャッジベッド	716
非常灯バッテリー交換	1,400		
購入等合計	2,350	購入等合計	716
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
コンベクションオープン交換	1,700	全自動洗濯機交換	1,643
全自動洗濯機交換	1,700		
購入等合計	3,400	購入等合計	1,643

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	4	4	4	4	4	4	4	4	4
女性	46	46	45	43	45	45	44	46	46
合計	50	50	49	47	49	49	48	50	50

1月	2月	3月	計
4	4	4	48
46	46	45	543
50	50	49	591

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成23年度	48				2	15	15	16	48
	14			40	175	566	193	588	1,562
平成24年度	50	0	0	0	1	9	18	22	50
	24	8	15	121	258	370	609	651	2,032
平成25年度	49				1	7	19	22	49
	13	0	19	44	63	571	415	549	1,661

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成25年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ひかり苑	定員	50名		
短期入所	専用	4名	空床利用	5名	
利用者	年間稼働率	98.4%			
	（ 特養	97.7%	短期入所	107.6%	空床利用含む）
	男女比率	1対3	平均年齢	86.4歳	
	（最高	104歳）	平均要介護度	3.7	
	（最低	62歳）			
	平均在所期間	3.8年	（最長	16年）	
	年間入所	10名			
	年間退所	11名			
主な入所理由	在宅生活困難なため家庭からの入所				
主な退所理由	死亡退所				

【施設運営状況】

- 1 法人理念と施設理念を常に念頭において、業務遂行に努めました。稼働率98.4%（前年度98.7%）でした。目標値を若干下回りました。
- 2 第三者評価を受審し、職員の業務見直しや振り返りを行うとともに、業務の標準化を図るためにマニュアルの整備をして、サービスの提供に努めました。
- 3 職員の育成について、特にエルダー制を導入してOJTを充実させながら、新人の育成に力を入れました。また、職員一人ひとりの個別の研修計画表を作りました。
- 4 地域との関わりについて、近隣自治会と懇談会を行い、地域の状況・要望、施設の状況をお互いに理解し合い、今後の関係の方向性が掴めました。
- 5 当初予算に基づき収支状況改善のため行事の縮小や職員への収支に対する意識改革に取り組み、当期活動収支差額が黒字に転じました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者・家族に参加していただき、施設介護計画書を作成し、きめの細やかなケアを提供することによって、生活の質の向上に努めました。
- 2 基本的な生活リズムを守りつつ、利用者の資する能力に応じて一人ひとりの個別ケアを重視して、支援を行いました。
- 3 メインテーマである、安心・安全な「持ち上げない介護」を実践するために、職員教育の一環として、福祉用具の活用と介護技術のスキルアップに努めました。
- 4 利用者の楽しみとして、クラブ活動やブネ活動、音楽活動、生活リハビリ等の余暇活動の充実を図りました。
- 5 ターミナルケアについて、今年度は検討を重ねて取り組んできましたが、医師の確保が難しく次年度以降に持ち越しとなりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
パソコン	300		
購入等合計	300	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
車椅子	225	冷温水発生器ポンプ交換	368
		冷温水発生器1号機修理	494
購入等合計	225	購入等合計	862
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
		低床ベット	334
		車椅子	150
購入等合計	0	購入等合計	484
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		複合機	640
		ネットスクリーン	393
		電動ベット	847
		パソコン	493
購入等合計	0	購入等合計	2,373

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	16	16	16	16	16	16	16	16	15
女性	35	35	35	35	35	34	36	36	36
合計	51	51	51	51	51	50	52	52	51

1月	2月	3月	計
15	15	16	189
35	34	35	421
50	49	51	610

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成23年度	49	0	0	4	5	12	10	18	49
	146	0	4	107	110	455	267	514	1,457
平成24年度	51	0	0	3	6	13	12	17	51
	177	0	7	122	311	518	235	439	1,632
平成25年度	51	0	0	1	5	13	17	15	51
	179	0	0	183	416	586	106	280	1,571

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成25年度 事業報告書（認知症対応型共同生活介護）

施設名	かえで	定員	9名					
利用者	年間稼働率	91.7%	平均年齢	84.1歳	(最高	94歳)	(最低	74歳)
	男女比率	2対7						
	平均在所期間	2.1年	(最長	3.7年)				
	年間入所	2名						
	年間退所	2名						
	主な入所理由	在宅介護の継続困難による						
	主な退所理由	療養機関への入院による						

【施設運営状況】

- 1 認知症によるご本人及び他利用者への影響を考慮しながら、個別のニーズを施設全体で支援しました。また職員個々の振り返りの機会を設け、日々の支援を見直すよう心掛けました。
- 2 家族の集い（年2回）、運営推進会議（年6回）等を通じ、情報の提供及び発信を行いました。相談、苦情に関しても随時対応を図るとともに、今年度より発足しました第三者委員会にて報告することができました。
- 3 施設開設後毎年継続受審している第三者評価では、ご家族、評価機関より高い評価を頂くことが出来ました。また運営推進会議の参加者から得られた地域や他施設の情報を生活支援の向上に繋げることができました。
- 4 職員会議や第三者評価の受審、研修報告会などを活用して情報の共有を図り人材の育成に努めました。
- 5 前年度比で稼働率4.4%減となりました。2名の退去、2名の延べ36日の入院が主な要因となっています。

【利用者支援状況】

- 1 職員の各研修への参加と共に、ターミナルケアへの取り組みや新たな行事等の企画を行いました。
- 2 全体での行事等の外出に加え、個別の買い物や外食等の個別支援の充実を図り、利用者満足度の向上や活動的な生活につなげる事が出来ました。
- 3 訪問看護との連携を図り、利用者の健康、体調管理を行うことが出来ました。
- 4 基本的な生活リズムは守りつつも日課は最小限に留め、利用者それぞれのペースを尊重した支援を行いました。
- 5 様々なボランティアの活用、地域行事への参加、買物や理髪等の日常的な外出を通じ地域との交流を図ることができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
エアコン交換工事	750	居室ドア改修工事	106
購入等合計	750	購入等合計	106
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		パソコン購入	112
購入等合計	0	購入等合計	112
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男	2	2	2	2	2	2	2	2
女	7	7	8	7	7	7	7	7
合計	9	9	7	9	9	9	9	9

12月	1月	2月	3月	計
2	2	2	2	24
6	6	6	7	82
8	8	8	9	103

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成23年度	9	0	0	3	3	1	2	0
平成24年度	9	0	0	3	2	3	1	0
平成25年度	9	0	0	3	1	4	1	0



平成25年度 事業報告書（認知症対応型共同生活介護）

施設名	原町グループホーム	定員	18名			
利用者	年間稼働率	87.0%	平均年齢	84.3歳	(最高	98歳)
					(最低	73歳)
	男女比率	3対15				
	平均在所期間	0.98年	(最長	1年)		
	年間入所	21名				
	年間退所	3名				
	主な入所理由	独居が難しい環境、家族による介護が困難				
	主な退所理由	死亡				

【施設運営状況】

- 1 開設1年目として、4月から順次入居開始し4月に1ユニット9名、5月から6月初めにかけて1ユニット9名入居とし、満床となりました。
- 2 開設から1年未満であるが第三者評価を受け、概ね高評価となりました。ご家族からの信頼も得て運営を行いました。
- 3 1階地域交流室にて行われる地域交流ほほえみ事業に参加し、地域の方をはじめ他の入居者とも交流を持ちました。
- 4 1月より毎月1回社協を通してボランティアによる行事を行っています。他に、11月～12月は毎週傾聴ボランティア、9月～現在まで月1回音楽ボランティアが参加しました。
- 5 新しいケアとして活用すべく、スウェーデン式音楽ケアのブンネ法の研修に参加。また、認知症緩和ケアに活用するためハプティックセラピーの研修に参加し、実践しました。

【利用者支援状況】

- 1 ボランティアに定期的に来ていただき、ご利用者にいつもと違った楽しさを提供しました。
- 2 開設初年度だったこともあり、職員全体で創意工夫しながら利用者へのサービスを提供しました。また、ご利用者の処遇を充実すべくフロア会議を行いました。
- 3 ボランティアに来ていただき、月1回のペースでお楽しみ会を実施しました。また、グループホーム以外の複合施設のご利用者に参加していただいたり、地域の方にも参加していただきました。
- 4 季節ごとに季節を感じていただく行事を行いました。室内で行ったり、車を使って外出支援を行い、ご利用者から好評をいただきました。
- 5 訪問看護ステーションと連携を図り、利用者の健康管理をすすめました。ご利用者に何かあればステーションと連携し、即応する体制が確立できました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(月初人員数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男	0	1	3	3	3	3	3	3
女	0	8	14	15	15	15	14	15
合計	0	9	17	18	18	18	17	18

12月	1月	2月	3月	計
3	3	3	3	31
14	15	15	15	155
17	18	18	18	186

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成23年度	0							
平成24年度	0							
平成25年度	18			7	8	1	1	1

平成25年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター** 定員 **25**名

利用者 年間稼働率 **72.1**% 男女比率 **1対4**

平均年齢 **82.6**歳（最高 **96**歳）（最低 **66**歳）

【施設運営状況】

- 1 立川の一部に営業範囲を広げ、利用者を2名受け入れました。また、レクリエーション等活動自体を見直し、様々な物を継続するとともに、新しいことも積極的に取り入れ、稼働率向上に繋がりました。
- 2 昭島病院の理学療法士を招き集団・個別リハビリを実施、残存機能を活かし、在宅生活の継続に貢献しました。
- 3 近隣デイサービスの増加等の対策として、ケアマネージャー等関連機関との連携を強化し、稼働率維持に繋がりました。
- 4 先輩職員が後輩職員を指導し、内部研修などに参加するなど職員育成によりサービスを維持向上させ、顧客満足に繋がりました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の意思を尊重しながら自立支援をサポートし、顧客満足に繋がりました。
- 2 利用者ニーズを適切に踏まえた計画書に則り、援助を行いました。
- 3 介護技術の確認作業を適宜行い、適切な介護技術を持って、個々に適した援助を行いました。
- 4 ボランティアや地域資源を活用し、多種多様なサービスを提供しました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
非常食	504		
購入等合計	504	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		冷温蔵庫	1,490
購入等合計	0	購入等合計	1,490
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
冷温蔵庫	1,500		
購入等合計	1,500	購入等合計	0

## 利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	51	87	84	91	75	80	79	86
女性	421	400	364	376	376	355	404	381
合計	472	487	448	467	451	435	483	467

12月	1月	2月	3月	合計
86	84	85	110	998
361	364	359	372	4,533
447	448	444	482	5,531

## 利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
23	介護	191	369	2,261	1,407	1,171	432	48	5,879
	送迎	310	546	4,474	2,462	2,334	861	96	11,083
	食事	191	369	2,257	1,405	1,170	432	48	5,872
	入浴	0	0	332	301	400	109	54	1,196
	機能訓練	0	0	91	13	87	42	0	233
24	介護	72	438	2,067	1,333	1,144	200	115	5,369
	送迎	144	876	4,134	2,666	2,288	400	230	10,738
	食事	72	438	2,067	1,333	1,144	200	115	5,369
	入浴	0	0	374	351	443	132	78	1,378
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
25	介護	23	425	1,910	1,303	884	806	180	5,531
	送迎	46	850	3,820	2,606	1,768	1,612	360	11,062
	食事	23	425	1,910	1,303	884	806	180	5,531
	入浴	0	7	350	570	193	610	102	1,832
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成25年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイホーム** 定員 **10**名

利用者 年間稼働率 **72.9**% 男女比率 **1対4**

平均年齢 **80.2**歳（最高 **99**歳）（最低 **56**歳）

【施設運営状況】

- 1 年間稼働率については当日キャンセルや入院による長期にわたる休みが重なり、前年度の79.3%から72.9%へと減少となり目標を達成することはできませんでした。
- 2 1日の利用定員10名といった小規模運営のメリットを活かしてニーズに応じた個別支援（レクリエーション、ドライブ等）とおやつ作りなどの集団支援など幅広い活動を柔軟に実施してきました。
- 3 ご家族の介護負担軽減の為、ご希望に応じての臨時利用や送迎時間の変更等に柔軟に対応してきました。またニーズの高い入浴についても積極的に受け入れを行いました。
- 4 フジ居宅介護支援事業所をはじめ、各居宅介護支援事業所とこまめに連絡を取り情報交換をする中で、信頼関係の構築を図ってきました。徐々に効果が出ており、利用依頼等の実績に結びついています。
- 5 実習生の受け入れを通して、将来、福祉業界を担う人材の育成に寄与してきました。

【利用者支援状況】

- 1 認知症の進行緩和ならびに身体機能の低下を防ぎ、できるだけ在宅で自立した生活を送ることができるようニーズに沿いながら静的な活動（創作等）と動的な活動（リハビリ、散歩等）を組み合わせて提供してきました。
- 2 それぞれのご利用者のニーズを把握するために、日々のミーティング、ご家族や担当ケアマネジャーとの情報交換などの場を積極的に活用してサービスの向上に努めてきました。
- 3 併設型のメリットを活かして特養の行事への参加、またデイホーム独自の行事などのイベントも積極的に実施して、交流機会の創出とご利用者の社会参加につなげてきました。
- 4 広報誌の発行（毎月）、空き状況報告（毎月）などの情報発信を積極的に行い、地域に開かれた施設、また利用率向上への取り組みを継続的に実施してきました。
- 5 通所利用においてニーズの高い入浴について積極的に受け入れを行い、ご家族の介護負担軽減とご利用者のQOLの維持・向上に取り組んできました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	36	46	44	53	49	45	42	36
女性	140	159	156	178	151	127	152	141
合計	176	205	200	231	200	172	194	177

12月	1月	2月	3月	合計
35	38	33	35	492
148	136	121	136	1,745
183	174	154	171	2,237

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
23	介護	0	0	129	1,025	813	305	306	2,578
	送迎	0	0	129	1,025	813	305	306	2,578
	食事	0	0	129	1,025	813	305	306	2,578
	入浴	0	0	13	745	388	109	158	1,413
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
24	介護	0	0	76	867	862	428	201	2,434
	送迎	0	0	76	867	862	428	201	2,434
	食事	0	0	76	867	862	428	201	2,434
	入浴	0	0	8	616	372	94	91	1,181
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
25	介護	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	送迎	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	食事	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	入浴	0	0	0	373	645	300	6	1,324
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成25年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **原町デイサービスセンター** 定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **47.8**% 男女比率 **1対9**

平均年齢 **81**歳（最高 **94**歳）（最低 **68**歳）

【施設運営状況】

- 1 原町デイサービスセンターとして原町高齢者複合施設1階にて開設しました。6月に若松町にて運営していた原町高齢者在宅サービスセンターの利用者を受け入れました。
- 2 原町グループホーム、原町小規模多機能居宅介護センターに利用者数名が移動しました。
- 3 一年をかけ地域密着サービスとしての地域との関係性作りに励みました。地域の居宅介護事業所にも知っていただき、25年度後半にかけ徐々に稼働率を向上させました。
- 4 東京女子医大から看護学生の実習の受け入れを行い、地域看護学の実習を行いました。介護と看護、医療連携を学ぶカリキュラムの構築に協力しました。
- 5 職場内研修を定期的に行い、認知症の理解、対応、コミュニケーションの取り方、介護記録の取り方、接遇、コンプライアンス遵守について学習しました。

【利用者支援状況】

- 1 新宿区においても、高齢者世帯が増加し、ひとり暮らし高齢者の割合が高い傾向となっています。このような中で地域連携の充実を図り、多様な社会資源とつながり在宅生活を支援しました。
- 2 医療と介護の連携を図り、医療的ニーズの高い利用者に対応するため、訪問看護、在宅訪問診療と情報の共有、連携したサービスを実現しました。
- 3 認知症高齢者ケアのため、認知症状を基礎疾患も考慮にいれアルツハイマー型、脳血管性型、レビー小体型、前頭側頭型等でそれぞれの特性を理解し、ケアを行いました。
- 4 送迎については、新宿区の地域性（バリアフリーでない場所が多い、坂が多い）を考慮し、安全安心に気をつけ、事故のない移動介助を行いました。
- 5 認知症高齢者の抱える周辺症状を理解し、その症状を緩和するためにスウェーデン式認知症ケア（ハプティックセラピー、ブンネ法）をケアに取り入れました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性			27	19	21	30	36	36
女性			120	151	132	138	148	157
合計	0	0	147	170	153	168	184	193

12月	1月	2月	3月	合計
37	34	34	31	305
154	148	148	164	1,460
191	182	182	195	1,765

利用者状況推移(各年度延人数)

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
23	介護			149	203	1,221	605	1,221	3,399
	送迎			298	406	2,442	1,210	2,442	6,798
	食事			149	203	1,221	605	978	3,156
	入浴			149	203	1,003	605	1,221	3,181
	機能訓練			65	61	490	234	386	1,236
24	介護			127	209	637	579	1,127	2,679
	送迎			254	418	1,274	1,158	2,254	5,358
	食事			127	209	637	579	937	2,489
	入浴			127	209	601	579	937	2,453
	機能訓練								0
25	介護			75	269	174	429	818	1,765
	送迎			150	538	348	858	1,636	3,530
	食事			75	269	174	429	597	1,544
	入浴			75	227	174	429	597	1,502
	機能訓練								0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。



平成25年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12名

利用者 年間稼働率 71.6%

男女比率 1対5

平均年齢 77.8歳（最高 98歳）（最低 62歳）

【施設運営状況】

- 1 法人理念と施設理念を常に念頭において、業務遂行に努めました。稼働率71.6%でした。
- 2 業務の標準化を図るため、業務マニュアルの見直しを行い、より良いサービス提供ができるように役割分担を明確化しました。
- 3 地域福祉の拠点施設として、東村山市内の町内会の「地域住民懇談会」参加及び地域包括センターと連携して「認知症ケアの講演会」を企画、実施しました。
- 4 常に安全安心な送迎運転を心がけ、無事故無違反を達成しました。
- 5 グリーンカーテンの設置、照明をLEDに改修するなど、省エネルギー、コスト削減に努め、安定した運営ができました。

【利用者支援状況】

- 1 通所介護計画書に基づく、個別ケアを行い、認知症周辺症状緩和を行いました。
- 2 認知症利用者に適切なサービスの提供を実践するため、コンプライアンスへの理解を深めるために施設内及び外部研修に参加しました。
- 3 利用者個々の残存機能を生かすため、個別機能訓練を推進しました。
- 4 余暇活動の充実および、サービスの質の向上のため地域住民、地域高校生によるボランティア活動が充実しました。
- 5 送迎ルートを常に見直したり、利用者の状況・天候等によって添乗員を柔軟に配置して、安心安全で快適な送迎に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		ケアルームLED照明工事	379
		パソコン	200
購入等合計	0	購入等合計	579

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	33	54	43	38	45	41	29	24
女性	189	197	203	201	214	183	196	185
合計	222	251	246	239	259	224	225	209

12月	1月	2月	3月	合計
27	25	35	43	437
155	160	149	177	2,209
182	185	184	220	2,646

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
23	介護		434	408	948	594	144	2,528
	送迎		434	408	948	594	144	2,528
	食事		434	408	948	594	144	2,528
	入浴		120	109	301	410	160	1,100
	機能訓練		312	230	436	538	228	1,744
24	介護		547	529	525	590	118	2,309
	送迎		547	529	525	590	118	2,309
	食事		547	529	525	590	118	2,309
	入浴		297	245	126	382	110	1,160
	機能訓練		385	469	214	552	171	1,791
25	介護		241	865	670	787	83	2,646
	送迎		241	865	670	787	83	2,646
	食事		241	865	670	787	83	2,646
	入浴		121	246	356	419	40	1,182
	機能訓練		165	676	485	593	64	1,983

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成25年度 事業報告書（地域包括支援センター）

施設名 榎町高齢者総合相談センター

年間延実施状況  
(相談件数)

	本人	家族等	関係機関	その他	合計
相談件数	5,574	4,098	2,336	639	12,647

【施設運営状況】

- 1 来所相談件数が昨年の1,168件に対し、今年度は1,372件で204件増加しました。新宿区内で9箇所のセンターがありますが、その中で来所件数が1番多くなりました。
- 2 地域のネットワークを引き続き構築しています。地域の会議や連絡会に66回参加しました。
- 3 地域への普及啓発活動も活発に行いました。介護保険制度の説明会や熱中症講座、認知症サポーター講座等7回開催しました。（地域交流館、郵便局、早稲田大学等）
- 4 新宿区の申請窓口としての業務を行いました。介護認定の申請や介護老人福祉施設の申し込みがその大半を占めますが、今年度は1,306件の申請書の取り扱いを行いました。
- 5 予防居宅介護支援事業所として、要支援1・2の方に対する予防プラン作成を行いました。給付件数は2,772件となり、1名あたりひと月58件担当しました。（委託分含む）

【利用者支援状況】

- 1 権利擁護事業では、虐待の通報やセルフネグレクト、区長申し立ての法定後見人の相談が増えました。各機関と連携し、迅速に対応しました。
- 2 経済的な問題、相続等の問題等複雑な相談内容が増えていることから、今年の1月より各センターで月1回弁護士相談が入ることとなりました。法的な見解が身近となり、相談体制がより充実しました。
- 3 認知症連携担当者を置き、今後も増え続けていく認知症に対策を講じました。毎月1回の認知症家族会が東地区での会場となり、その対応をしました。
- 4 医療連携担当を配置し各医療機関と居宅介護支援事業所との連携の橋渡し役を担いました。今年度は国立国際医療センターとの交流会、各病院のMSWとの交流会を企画・開催しました。
- 5 独居世帯と高齢者世帯とが半数を超える地域のため、「高齢者見守り支え合い連絡会」を行い、地域の力となるよう関係機関で顔の見える関係を築きました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成23年度	242	6,697	652	1,316	1,092	940	77
平成24年度	158	6,776	289	1,133	1,331	1,320	122
平成25年度	193	10,257	343	917	1,635	1,137	88

対象者年齢別内訳					
～64	～74	～84	～94	95～	不明
164	196	1,264	1,168	126	0
142	530	1,623	1,135	101	0
188	674	1,846	1,293	90	0

※相談件数は重複あり

施設名 **昭島市中部地域包括支援センター あいぼっく**

年間延実施状況 (相談件数)	本人	家族等	関係機関	その他	合計
相談件数	2,210	1,546	6,516	0	10,272

【施設運営状況】

- 1 地域包括ケア体制を担う相談機関となるよう、積極的に民生委員・老人会・自治会と連携してネットワーク作りを行いました。また介護事業所や民生委員を招いての地域連絡会を開催し、地域のネットワーク作りに取り組みました。
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心機関としての役割を果たすべく、民生委員や介護保険サービス事業所などとの連携構築に取り組みました。また虐待対応機関として、マニュアルに沿いながら、早期発見、対応に取り組みました。
- 3 社会福祉士・主任ケアマネ・保健師の3職種のみならず、市役所・昭島市の3包括と定期的に会合を持ち、連携しながら、第5期昭島市介護保険事業計画に沿った計画実施に取り組みました。
- 4 生活機能の低下を予防するべく、適切なアセスメントを行うことをこころがけ、職員1人あたり、直営・委託を含め40件の介護予防プラン作成に関わっています。
- 5 季刊誌として広報紙の発行、老人会での講座の開催などを定期的に行い、市民に向けての情報提供、地域包括支援センターの周知に積極的に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 高齢者の在宅生活の継続を支援していくために、積極的に各介護保険サービス事業所と連携を取り、きめ細かいサービス提供に努めると共に、地域のケアマネジャーが担当している困難事例の相談を受けるなどケアマネ支援にも積極的に取り組みました。
- 2 高齢者の総合相談窓口として、多様な相談に対応するために職員の研修派遣、あきしまネットワーク各部会への参加を積極的に行い、ワンストップで相談支援が行える体制づくりを行うと共に地域のケアマネジャーとの連携に取り組みました。
- 3 老人会や自治会などへ職員が定期的に赴き、各地域の高齢者の方々が必要としている情報提供を行うと共に、介護予防の取り組みを行い、ネットワークを構築しました。
- 4 認知症の方々が地域で安心して生活して頂ける街づくりを目指し、認知症サポーター養成講座を警察、小学校、老人会などで開催しました。また、介護している家族に対して家族介護者教室を開催し、介護技術・知識の向上を図りました。
- 5 ご利用者の相談に丁寧に耳を傾け、必要な方には自宅へ訪問し相談を受け対応しました。また老人会や自治会にも参加し積極的に地域のご利用者の声を拾うよう心掛けました。昭島市の取り組みである救急医療キットの配布も積極的に行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成23年度							
平成24年度	66	3,264	2,863	593	765	1,154	0
平成25年度	81	2,939	3,416	807	865	1,320	0

対象者年齢別内訳					
～64	～74	～84	～94	95～	不明

※相談件数は重複あり

平成25年度 事業報告書（小規模多機能型居宅介護センター）

施設名	原町小規模多機能型居宅介護センター	登録定員	25名
利用者 年間稼働率	41.3%	通いサービス	15名
		宿泊サービス	5名
男女比率	3対7	平均要介護度	2.5

【施設運営状況】

- 1 利用者のニーズや希望を叶えると同時に、安全にも配慮した介護を追求しました。重度の認知症周辺症状や高齢で虚弱であるなどの症状があっても、心身が安定し、安心して生活できるよう、取り組みました。
- 2 夏季には、猛暑で体調不良になった地域の虚弱高齢者の受け入れを行ったり、自宅にエアコンのない利用者に毎日「通いサービス」を利用してもらうなど、地域の「避難所」的な役割をも視野に入れた運営を行いました。
- 3 利用者一人ひとりのニーズに対応するため、「通い・宿泊・訪問」サービスを臨機応変に変更して提供できるよう、運営基盤を整備し、利用者の在宅生活を支援しました。
- 4 独自の研修プログラムを作成し、年間を通じてOJT、OFF・JTを実施。職員一人ひとりが確実に介護力、チーム力、リーダーシップを身につけ、複雑な業務に臨機応変に対応できるよう、能力を養成しました。
- 5 25年3月の開設後、19名の利用者を迎えました。転居、入院、死亡などにより26年3月末で登録13名、月間稼働率は56%となりました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者のもてる力を見極め、少しでも自力で生活動作ができるよう、環境を整え、支援方法を工夫しました。また、個別に趣味や興味のあることを見つけてアクティビティとして提供。生活の幅が広がるよう支援しました。
- 2 利用者個別に家庭環境を含むアセスメントを実施。通い・宿泊・訪問のサービスを提供できる強みを活かし、ケアマネジメント・ケアサービスを提供。家族が就業しながらの在宅介護を支援し、重度要介護者の自宅での生活を支援しました。
- 3 サービスを提供するための職員の知識・技能が標準化されるよう、手順化し個別に研修・評価を行いました。また、利用者の個別情報やケアを行う際の方向性、考え方が職員間で共有されることを重要視し、そのための仕組みづくりを行いました。
- 4 スウェーデン式ソフトハンドケア（ハプティックセラピー）を提供し、認知症の重度の周辺症状がある利用者の症状緩和を図ったり、夜間スムーズに睡眠導入できるように取り組みました。
- 5 地域交流事業（書道、華道、手芸、リハビリ体操、ブンネ法）を実施し、地域住民との連携を図る取り組みを行いました。また、運営推進会議にて、地域住民の方々の潜在ニーズの収集や意見交換を行いました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名 (購入・工事)	金額	物件名 (購入・工事)	金額
第1期 (4～6月)		第1期 (4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期 (7～9月)		第2期 (7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期 (10～12月)		第3期 (10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期 (1～3月)		第4期 (1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

## 利用状況 (月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性			25	37	71	49	39	75	99
女性	32	104	151	214	263	229	249	232	267
合計	32	104	176	251	334	278	288	307	366

1月	2月	3月	合計
103	123	138	759
255	263	300	2,559
358	386	438	3,318

## 利用者状況推移 (各年度延人数)

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	
25	通い	17	140	183	236	801	666	163	2,206
	宿泊		26	68	161	361	366	51	1,033
	訪問		88	5		6		3	102



### 3 障害者支援系福祉サービスの経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営しました。

#### 【グループ総括】

- 1 各種加算の活用や定員の見直しを行い経営の安定に努力しましたが、特に大きく制度変更の影響を受けることはありませんでした。特定相談事業の開設については、他事業所の動向を見て慎重に検討しました。
- 2 グループ施設の機能を有効に活用して利用者の地域移行の実現や入所による生活の場の確保などに取り組みました。また、施設整備や建替え工事も、グループ会にて進捗状況を確認して行いました。
- 3 今年度は新たに主任研修を4回実施し、リーダーとしての役割や専門知識のスキルの向上に取り組みました。管理者候補・コア人材の育成についても、グループ協議のうえ取り組むようにしました。
- 4 虐待チェックリストによる意識調査や虐待防止の合同職員研修、施設単位での研修を実施しました。特に虐待の早期発見やグレーゾーンの見極め力を育てるよう、各施設が関連情報の周知や事故検証・ヒヤリハットの検証に丁寧に取り組みました。
- 5 グループホームの安全対策として、消防法改定に基づく対策（スプリンクラー設置）を検討しました。利用者の高齢化や通院同行など支援内容が多様化しておりバックアップ施設の支援の強化が求められます。
- 6 自立支援協議会や地域のネットワーク会議に参加し、町内会や商工会などとも連携し、地域の方の理解を得るよう努めました。結果、作品販売や就労体験実習の拡大や土地活用の照会につながりました。
- 7 災害時事業継続計画は、想定訓練を実施し実行性のある計画となるように見直しを進めました。また、災害時30分の行動計画に基づき訓練を実施しましたが、全施設の取り組みには至りませんでした。

#### 1 障害者支援系施設

障害者自立支援法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行いました。

#### 2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行いました。

#### 3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図りました。

#### 4 共同生活介護(ケアホーム)・共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に生活の場を提供し、入浴・排泄または食事の介助、相談その他日常生活の援助を行い、自立した生活を営めるよう支援しました。

平成25年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	さやま園	施設入所支援	定員	96名
		生活介護		90名
		就労移行支援		6名
		短期入所		4名

利用者 年間稼働率	施設入所支援	90.4%	平均障害程度区分	4.73
	生活介護	93.7%		4.88
	就労移行支援	53.3%		3.66
	短期入所	38.5%		4.11

平均年齢	48.1歳	(最高	70歳)
		(最低	19歳)

平均在所期間 20年 (最長 49年)

年間入所 16名

年間退所 12名

主な入所理由 家庭における養育困難、介護者不在

主な退所理由 GH移行、自宅復帰、自立意欲

※入所支援

【施設運営状況】

- 1 懸念していた総合支援法の改定の影響は、大きくは受けませんでした。生活介護給付費が若干下がりましたが、他の加算を得ることで収入としては安定していました。
- 2 本棟と南棟の今後20年程度の保守改築計画を検討しました。福祉情勢や経済情勢が密接に関係する事案なので、定期的な修正が必要となってきます。
- 3 知的障害者の24時間施設のBCPということで、利用者状況の条件設定が難しく、大枠のみの計画となってしまいました。26年度は応用のできる計画を再構築します。
- 4 1.7対1の人員配置を得て、利用者一人あたりの報酬単価が増えて、全体として13.6%の増収となりました。職員増で利用者支援も個別対応の機会が増え、利用者のニーズに応えることができました。
- 5 職員会議で虐待の個別事例を挙げ、検討するとともに、専門家を招いてアンガーマネジメント（怒りのコントロール）研修を実施し、利用者支援の最前線での自己コントロールを研鑽しました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者それぞれの配慮を盛り込んだ個別支援計画を有効に活用し、利用者の健康管理や安全配慮、地域資源の活用などに生かしました。
- 2 25年度末で、男性利用者は定員いっぱいの18名になりました。入所に際しては、グループ内の事業所などと協議して、緊急度や地域からのニーズに対応し、入所を迅速に判断しました。
- 3 家族と協議しながら救急搬送時のフェイスシートを作成し、既往症の確認のほか、改めて家族のかかわりを整理することができました。また、リハビリの技術向上のための研修を実施しました。
- 4 新たなグループホームの建設には至りませんでした。数か所の候補地に対して、積極的にかかわりましたが、地元の反対や都建築基準のハードルが高く、断念せざるを得ませんでした。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
事務所改装	2,910	事務所改装工事	2,910
グランド整備	18,000	事務所書庫	766
医務室備品	1,220	宿直室改装工事	1,000
浴室追い炊き	2,500	購入等合計	4,676
購入等合計	24,630		
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
宿直室改装	1,000	グランド整備	17,998
作業棟トイレ改装	1,500	購入等合計	17,998
購入等合計	2,500		
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
		医務室備品	528
		支援員室漏水工事	735
購入等合計	0	購入等合計	1,263
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		作業棟トイレ改装工事	1,985
		南棟飛散防止フィルム	620
		食器消毒保管庫	639
		電気LBS交換工事	1,302
購入等合計	0	購入等合計	4,546

## 年間利用状況(各月月初人員数)

## 施設入所支援のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	5	9	10	13	14	14	16	16	16
女性	86	84	81	80	79	79	78	78	77
合計	91	93	91	93	93	93	94	94	93

1月	2月	3月	計
16	16	16	161
77	76	76	951
93	92	92	1,112

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

## 施設入所支援のみ

年度	実人員	年齢別内訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～
平成23年度	92	1	15	13	6	5	5	3	4	40
平成24年度	94	1	13	12	5	7	6	4	4	42
平成25年度	92	3	3	14	3	8	6	6	5	44

平成25年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	小茂根福祉園 生活介護	定員	40名		
	就労継続支援B		30名		
利用者	年間稼働率	生活介護	80.0%	平均障害程度区分	5.0
		就労継続支援B	90.2%		
		平均年齢	33.4歳	(最高)	62歳
				(最低)	19歳
	平均在所期間	11.9年	(最長)	31年	
	年間入所	5名			
	年間退所	2名			
	主な入所理由	特別支援学校卒業後の進路、入所施設から移行			
	主な退所理由	生活介護から就労継続B型への移行、入所施設へ移行			

【施設運営状況】

- 1 板橋区及び他の福祉園と連携し、適正な運営に努めました。板橋区の指定管理者総合評価を審査し、A（特に優れている）評価をいただきました。
- 2 毎月の防災訓練にBCPを取り入れ、定期的に訓練を行うとともに、備蓄の整備を図り災害に備えました。
- 3 法人のスケールメリットを活かし、就労継続支援B型の新しい就労のあり方を検討し、実践に結びつけました。
- 4 ホームページの立ち上げや、その他メディアを通して情報発信する機会が増えたことにより、地域からの問い合わせが増え、施設理解やボランティア確保につながりました。
- 5 研修報告会の実施回数を増やし、職員相互の活発な意見交換により、人材育成を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 アセスメントとモニタリングを重視し、利用者の意思決定が十分反映できる個別支援計画となるよう作成し、支援しました。
- 2 新規事業として、利用者の安定収入による工賃増を目指し、ゆたか苑での清掃作業に取り組みました。企業との連携により技術が担保され、チーム就労による利用者満足度も向上しました。
- 3 生活介護サービスと就労継続支援サービスが、一体的にサービスの狭間にいる利用者の支援を行うことにより、利用者支援の幅が広がりました。
- 4 地域に向け、毎月定期的に「カフェ」を始めました。家族の来園者が増加したり、障がい児者を家族に持つ地域住民の相談や見学者が増えたことにより、相互交流の場となりました。
- 5 障害者虐待防止法の施行を鑑み、権利擁護委員会を立ち上げ、重点的課題として職員周知を図りました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
キュービクル交換	3,124	キュービクル交換	2,220
消防設備改修	1,200	加湿温蔵庫設置工事	913
通用口ドア回収	900		
購入等合計	5,224	購入等合計	3,133
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
パソコン購入	720	消防設備改修工事	1,155
購入等合計	720	購入等合計	1,155
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
食器消毒保管庫購入	525	アコーディオンカーテン改修工事	840
加湿温蔵庫購入	900		
1階支援室ドア改修工事	2,500		
購入等合計	3,925	購入等合計	840
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
アコーディオンカーテン改修	1,000	食器消毒保管庫購入	399
		パソコン購入	1,244
		1階支援室ドア改修工事	2,100
購入等合計	1,000	購入等合計	3,743

## 年間利用状況(月間延人員) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	470	493	462	508	456	436	480	457	437
女性	221	204	198	210	190	199	226	208	193
合計	691	697	660	718	646	635	706	665	630

1月	2月	3月	計
425	416	457	5,497
192	183	189	2,413
617	599	646	7,910

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在) 生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	38	3	14	5	8	6	2	0	0
平成24年度	36	1	14	5	8	3	5	0	0
平成25年度	37	2	10	8	7	5	4	1	0

## 年間利用状況(月間延人員) 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	286	290	269	306	274	258	290	268	269
女性	301	301	288	307	263	266	302	291	262
合計	587	591	557	613	537	524	592	559	531

1月	2月	3月	計
274	271	283	3,338
267	259	280	3,387
541	530	563	6,725

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在) 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	30	3	9	1	2	1	4	4	6
平成24年度	30	1	9	4	2	0	1	6	7
平成25年度	32	1	6	8	2	1	0	5	9

平成25年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	立川福祉作業所 生活介護	通所定員	30	名
	就労継続支援B		35	名
	就労移行支援		10	名

利用者 年間稼働率	生活介護	78.8	%	平均障害程度区分	3.36	
	就労継続支援B	90.0	%			
	就労移行支援	93.6	%			
	平均年齢	35.26	歳	(最高)	61	歳
				(最低)	19	歳

平均通所期間 14.5 年 （最長 44 年）

年間入所 5 名

年間退所 9 名

主な入所理由 特別支援学校卒業

主な退所理由 施設移管・就職

【施設運営状況】

- 1 今年度は、利用者の高齢化等により9名の施設移管があり、稼働率は前年度比1%減少し全体では87%になりました。
- 2 第三者評価においては、ご利用者・ご家族調査において、満足度で高い評価をいただき施設のイメージアップに繋がりました。
- 3 施設として商工会議所や観光協会等に参加して、所長がその役員を務めるなど地域振興に取り組まれました。その結果、地域における施設の認知度が高まり、事業収入の増加につながりました。
- 4 国体開催に際して、立川市総合政策部国体推進室と連携して国体関連商品を開発するとともに競技場等でパン販売を行いました。
- 5 法人の研修のみならず、地域の他施設を交えた研修に企画段階から参加させ人材の育成の一環としました。

【利用者支援状況】

- 1 就労支援については、1名の就職が決定しました。また他の利用者の定着支援に積極的に取り組みました。
- 2 個別対応では、通所が難しくなった9名の利用者について、本人の意向を尊重しながら、ご家族や関係機関と連携して他の地域施設へ移管しました。
- 3 ご利用者の活躍の場を広げるため、職場体験実習を開拓し、市庁舎内の清掃実習を実現しました。
- 4 ボランティア活動として、一般企業・歯科保健指導等40名のボランティアを受け入れ交流を図りました。
- 5 従来の余暇支援に加えて「エアロビクス検定」や「フットサル大会」出場等、より魅力ある内容を盛り込みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
測量費	800		
地盤調査費	800		
購入等合計	1,600	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
作業用品修理	850		
購入等合計	850	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
店舗備品	500	製パン用分割丸め機修理	630
購入等合計	500	購入等合計	630
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
製パン器具修理	500	利用者用パソコン	777
		結オハナスプリンター設置工事	2,415
		職員用パソコン	1,109
		コピー機	640
購入等合計	500	購入等合計	4,941

年間利用状況(月間延人員) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	21	20	20	20	20	18	18	18	18
女性	11	11	12	12	12	12	12	12	12
合計	32	31	32	32	32	30	30	30	30

1月	2月	3月	計
18	18	18	227
12	12	12	142
30	30	30	369

利用者状況推移(各年度3月1日現在) 生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	31		3	2		4	5	3	14
平成24年度	30		3	2		4	4	3	14
平成25年度	30		1	4		4	3	5	13

年間利用状況(月間延人員) 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	26	26	26	26	26	26	26	26	26
女性	10	10	10	10	9	9	9	8	8
合計	36	36	36	36	35	35	35	34	34

1月	2月	3月	計
25	25	25	309
8	8	7	106
33	33	32	415

利用者状況推移(各年度3月1日現在) 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	33		13	2	6	6	1	3	2
平成24年度	36	3	12	3	5	7	1	2	3
平成25年度	32	4	10	5	4	5	1	1	2

年間利用状況(月間延人員) 就労移行支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	5	5	5	5	5	5	5	5	5
女性	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10

1月	2月	3月	計
5	5	5	60
5	5	5	60
10	10	10	120

利用者状況推移(各年度3月1日現在) 就労移行支援

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	11	4	6		1				
平成24年度	10	1	8	1					
平成25年度	10	1	6	1	1	1			



平成25年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	東村山生活実習所 生活介護	通所定員	30名
	就労継続支援B		10名
	短期入所		2名

利用者 年間稼働率	生活介護	90.7%	平均障害程度区分	5.3
	就労継続支援B	101.8%		
	短期入所	36.4%		5.2

平均年齢 37.2歳（最高 64歳）

平均通所期間 5.1年（最長 8年）（最低 20歳）

年間入所 5名

年間退所 7名

主な入所理由 他施設からの移動

主な退所理由 他施設へ移動

【施設運営状況】

- 1 施設運営を支える各種の報酬制度、補助金制度に対して、職員配置の面で一部条件があわず、予定していた報酬等に関して減算になりました。その結果、収支の面に大きく影響してしまいました。
- 2 自立支援協議会の設置、市内福祉施設との情報交換、また個別ケースにおける支援会議等、職員が必要に応じて地域にある福祉関連団体と交流する機会を多くもち、地域の福祉の活性化の一翼を担いました。
- 3 BCPを主とした防災対策について、実効性のある計画作りに取り掛りました。職員個々の災害時の動きに関して理解を深めました。
- 4 職員個々の意識に負うところの大きかった人権意識や支援者としての姿勢について、職場全体の課題として、再度研修などを行い、利用者に対する支援の質の向上に取り組みました。また、この課題に関しては、常に取り組みむことを再確認しました。
- 5 職員の育成に関しては、人事考課と照らし合わせながら、職員個々の目標・課題について（例えば、介護技術の向上）、向上が図られるように取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 保護者の高齢化により、家庭での介護が困難になってきたことを踏まえ、施設内での利用者サービスにとどまらず、ファミリーサポートの重要性が高まりました。これを踏まえて関係する福祉団体と連携をとり、必要な支援を行いました。
- 2 利用者個々の課題に関して、施設単独ではなく、他の福祉サービスと連携する機会が多くなりました。より広い福祉サービスの知識、マネジメント機能が必要になりました。
- 3 特別支援学校等の生徒や将来福祉施設での就労を希望する学生等の実習について、できるだけ多く受け入れました。
- 4 就労継続支援事業で取り組んでいる喫茶店営業に関しても、昨年度より売り上げが若干伸びました。お客様の増、販路がかなり広がったことその他、利用者の製造技術も少しずつ向上してきました。
- 5 地域のボランティアの方々が、施設の環境整備（花壇の手入れ、絵画の提供など）や行事などに参加して下さり、施設や利用者への理解が深まりました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		車輛寄贈	1,430
購入等合計		購入等合計	1,430

## 年間利用状況(月間延人員) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	353	339	325	340	334	287	328	296	275
女性	243	243	235	260	237	210	270	259	234
合計	596	582	560	600	571	497	598	555	509

1月	2月	3月	計
271	267	292	3,707
247	232	259	2,929
518	499	551	6,636

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

## 生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	31	1	3	5	2	6	6	5	3
平成24年度	31	2	3	5	2	5	4	6	4
平成25年度	30	0	5	4	2	3	6	5	5

## 年間利用状況(月間延人員) 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	70	71	59	53	50	44	63	52	48
女性	168	162	154	163	143	141	171	148	145
合計	238	233	213	216	193	185	234	200	193

1月	2月	3月	計
48	37	71	666
132	133	158	1,818
180	170	229	2,484

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

## 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	12	2	0	2	1	2	1	1	3
平成24年度	13	1	2	2	1	1	2	1	3
平成25年度	12	0	5	1	1	2	0	1	2

平成25年度 事業報告書（心身障害者福祉ホーム）

施設名 さくらんぼ

事業名

長期自立支援事業

利用実人員 4名

年間延人員 1,080名

年齢

最高 52歳

最低 38歳

男女比率

1対3

事業名

短期自立生活訓練事業

利用実人員 78名

年間延人員 894名

年齢

最高 65歳

最低 19歳

男女比率

1.6対1

事業名

緊急一時保護事業

利用実人員 33名

年間延人員 281名

年齢

最高 59歳

最低 19歳

男女比率

3.5対1

事業名

レスパイト

利用実人員 60名

年間延人員 232名

年齢

最高 64歳

最低 19歳

男女比率

1.4対1

事業名

移動支援事業

利用実人員 25名

年間延人員 213名

年齢

最高 72歳

最低 21歳

男女比率

1対2.6

## 【施設運営状況】

- 1 登録者は年々増えてきており、調整会議等を行い平等に利用できるように取り組みました。医療的ケアについては、対象者以外の類似する利用者についての利用方法を区と検討し整理を図りました。
- 2 長期自立援護の利用者について、グループホーム等の地域移行の実現に向けて関係機関との連携を図りました。その結果、地域移行枠での利用者が地域生活へとつながりました。
- 3 さくらんぼの広報誌に事業活動状況等を掲載して配布し、多くの方々に理解を得るとともに利用して頂けるように取り組みました。また、「よりみちの会」や「さくらんぼ祭」などの行事を通して、地域生活を支える取り組みを実施しました。
- 4 障害者入所施設の虐待事件等を真摯に捉え、虐待となりうる事項について、内部検証、研修等を実施し、人権の尊重、意思決定支援などについて適切な支援が行われるように職員一人ひとりの意識の在り方などを再確認しました。
- 5 居住の場として安全かつ安心して生活が送れるように、居室の畳替えや1階エレベーター前の間仕切りの設置、トイレの自動水洗化など環境の整備に努めました。

## 【利用者支援状況】

- 1 長期、短期、緊急及びレスパイト事業を利用している利用者の通所先との情報交換を行い、地域での生活が安心して継続できるように支援をしました。また必要に応じて関係機関とのケースカンファレンス等も行い、一貫した支援へとつながるように取り組みました。
- 2 個別支援計画の作成にあたり、一人ひとりの希望や目標を明確にし、利用者自身が主体的に取り組めるように努めました。特に長期利用者については、積極的に関係機関と連携し、具体的な目標を設定して取り組みました。
- 3 緊急利用の長期化傾向が強かったため、ご本人及びご家族の不安の軽減を図りながらスムーズに次の生活の場に移行できるように区と協議しながら進めました。
- 4 施設内における内部研修のほか、災害、給食など、幅広い研修に参加させ、幅広い知識、技術の習得に努めさせました。また、会議等で報告の機会を設け、職員全体のスキルアップにつながるよう取り組みました。
- 5 さくらんぼ利用後のアフターフォローとして、移行先のケースカンファレンスに参加して情報提供などの支援を行いました。また、「よりみちの会」、「さくらんぼ祭」等の行事に招待してボランティアとの交流を図り、楽しみながら地域生活が継続できるように支援しました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
1.2階間仕切り工事	500		
購入等合計	500	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		2Fトイレ自動水洗交換	415
		スピーカー設置工事	357
		非常用バッテリー交換	125
購入等合計	0	購入等合計	897

## 利用者状況推移(各年度延人数)

年度	利用人員							
	親なき後対策		緊急一時保護		短期自立訓練		レスパイト	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成23年度	4	933	33	509	78	918	43	201
平成24年度	5	702	37	613	81	893	57	228
平成25年度	4	1,080	33	281	78	894	60	232

施設名 **さいわい福祉センター**

	事業名	平均年齢	年齢		男女比	
			最高	最低	男	女
自立支援事業	地域活動支援センター	19.6	21	18	1	2
	生活介護・就労移行	29.1	18	56	1	1
	身体機能訓練	38.1	69	18	1.1	1.4
介護支援事業	都型ショート	25.0	56	13	1.3	1
	日中一時支援事業	—	56	3	1.3	1
	入浴サービス	35.1	56	18	1.4	1
居宅生活支援事業	移動支援・同行援護	50.0	85	9	1	1.2
	居宅介護支援	55.0	64	41	1	1

障害者地域自立生活支援事業

相談内容	件数	利用者内訳	件数
相談事業（一般）	209	身体障害	138
特定相談	72	知的障害	861
就労支援（生活支援）	124	その他	44
〃（就労支援）	784		
計	1,189	計	1,043

【施設運営状況】

- 1 各事業について東京都の指導監査指針に照らして関係書類の整備状況を再点検し、コンプライアンスに基づく事務処理を行いました。特に居宅介護事業については個々の支援計画等の整備に努めました。
- 2 虐待防止として権利侵害のチェックリストを活用したり、全職員向けの合同研修を実施しました。相談事業において虐待が懸念されるケースについては、関係機関と連携して支援にあたりました。
- 3 実効性のある事業継続計画の策定に取組み、「発生後30分の行動計画」の訓練を実施しました。防災備品についても実用的な備品を購入し、市の防災備品の管理と合わせて災害時対策の充実に努めました。
- 4 第三者評価を受審し、支援について良い評価を得ました。各事業の案内パンフレット作成等の広報活動の充実やマニュアルの更新などの課題が明らかになりました。
- 5 今年度より主任・副主任を配置し、人材育成と組織運営の強化を図りました。また、介護人の賃金アップ及び職員の朝礼前のラジオ体操の実施等、処遇の改善と腰痛予防に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 医療ケアの必要な方が休日の利用を希望されたため、看護師の勤務体制を変更して対応しました。ニーズの高さを踏まえ、次年度も試行的に緊急時の受け入れ体制を検討していきます。
- 2 サービス等利用計画作成について情報提供や手続き支援を行い、計画作成やモニタリングを実施しました。手続き等の簡素化に向けても関係機関と協議して円滑に進め、市の計画作成の目標数値に近づけました。
- 3 市役所や商工会を通じて、庁舎内実習や職場体験実習を実施することが出来ました。また、新たに市内の作業所への就労希望者の掘り起し活動などの地域開拓にも取り組みました。
- 4 自立支援協議会の2部会に担当者が参加し、利用者実態や支援体制の課題等について情報提供し意見交換をしました。また、公開自立支援協議会開催に協力し、他事業所と支援の相互協力なども積極的に行いました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
		雨水ポンプ用逆止弁交換	231
		男子トイレ小便器センサー	220
購入等合計	0	購入等合計	451
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
点字ブロック修理	600	E Vスラックローラー	126
ビニールハウス(改修)		UVガラスフィルム工事	187
		給湯用ポンプ交換	126
		高圧気中開閉機(分電盤)工事	573
購入等合計	600	購入等合計	1,012
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
入浴室改修工事(協議)		ビニールハウス	123
		消防設備不具合箇所	334
		電動ベッド	305
		外壁劣化診断	620
		給与・人事システム	989
購入等合計	0	購入等合計	2,371

## 利用者状況推移(各年度延人員)

年度	自立支援事業				介護支援事業			
	知的訓練		身障機能		ショート・緊急		入浴	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成23年度	7	1,614	18	333	95	1,923	11	334
平成24年度	4	803	14	319	87	2,179	10	405
平成25年度	3	953	14	347	81	2,228	11	426

年度	居宅生活支援事業				育成事業			
	生活介護/就労移行		ヘルパー		グループ育成		講座・講習	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成23年度	12	2,139	28	1,377	111	1,407	86	975
平成24年度	9	2,258	24	1,049	94	1,259	101	1,023
平成25年度	13	2,377	23	1,281	113	1,232	63	961

平成25年度 事業報告書（共同生活介護・共同生活援助事業）

施設名 **アミニティ富士見**

定員 **42**名

利用者 年間稼働率 **98.3**%

【施設運営状況】

- 1 総合支援法による、グループホーム・ケアホームの一元化に関しては、心配された経営への影響はほとんどなく、また利用者の生活も大きく変わることはありませんでした。
- 2 新しくケアホームを造ることはできませんでした。複数の候補地があり、交渉を重ねましたが建設基準に満たず、また自治体の消極さがあり、結果的には計画を断念することとなりました。
- 3 世話人に対して、合理的配慮や利用者への関わり方の見直しをわかりやすく解説し、そこから虐待へのつながりを考える研修を実施しました。また、定例の世話人会では事例を含んだ情報提供を積極的に行いました。
- 4 世話人業務を相互牽制と業務のカバーという点から、複数の世話人が担う仕組み作りを行いました。また、キャリアが活かされるような委託料の考え方を取り入れ、提示しました。
- 5 借家ということで、早急にスプリンクラーの設置ができませんが、各ホームごとの避難訓練や地域協力、またトラッキング現象防止のコンセント対策など実施しました。

【利用者支援状況】

- 1 本人の「夢や希望を叶える」というテーマで個支援計画を立案し、世話人や地域資源を巻き込みながら、その実現を目指しました。
- 2 金融機関を使うことやごみの分別など、地域の中での生活手段を体験できるような支援を実施しました。また、利用者はアミニティ富士見以外の支援機関との交流も積極的に行いました。
- 3 地域のスポーツジムに通ったり、公民館で行われるサークル活動に参加したり、利用者それぞれのニーズに応じて、地域資源を活用するよう支援しました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	41	0	4	9	6	5	5	6	6
平成24年度	41	0	3	11	5	4	5	6	7
平成25年度	42	0	2	11	8	3	5	5	8



平成25年度 事業報告書（共同生活介護・共同生活援助事業）

施設名 **レヂオンス巣鴨**

定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **100.0** %

【施設運営状況】

- 1 サービス管理責任者を中心として、世話人会を毎月実施し、次年度の消費税増額による利用者負担金の影響等を検討しました。また、ケース記録、サービス提供記録、帳簿を見直し共通様式への検討を行いました。
- 2 世話人の変更等の際し、グループホームの支援に入る前にさくらんぼの事業についての研修を行い、世話人としての心構えや支援の在り方、権利擁護と利用者主体の支援などを伝え、世話人の育成に努めました。
- 3 施設入所支援事業所における虐待等の不祥事に対し、世話人会などを通して意見交換を行い、利用者の人権尊重や意思決定支援に繋がる生活支援となるように努めました。
- 4 年2回の防災訓練を実施し、災害時の避難方法や避難場所を明確にして安全に避難できるように取り組みました。また、防災備品の確認を行い、非常食の他必要備品の充足を行いました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者一人ひとりが楽しく安心して生活が送れるように個別支援の充実を図りました。バックアップ施設の職員が定期的に訪問し、個々の要望を聞き取り、世話人と協力してその実現に努めました。
- 2 利用者の高齢化に伴い、定期通院の他、突発的な通院が増加し、さくらんぼ職員による付き添い等の支援が多くなりました。投薬の管理、栄養バランスのほか、メンタル面へのケアも含めた健康管理への支援が必要となっています。
- 3 地域の催し、さくらんぼの行事等の情報提供を行い、一人ひとりが充実した生活が送れるように支援を行いました。バックアップ施設の企画による旅行や外出も実施しました。
- 4 通所先や就労先、病院などとの連携を図るとともに、ご家族ともその都度連絡をとりながらトータルな支援を行いました。年度末には家族会を開き、グループホームに係る制度変更等の情報提供を行うとともに課題の共有に努めました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	12				1	1	3		7
平成24年度	12				1	1	3		7
平成25年度	12				1	1	2	1	7

平成25年度 事業報告書（共同生活介護・共同生活援助事業）

施設名 **夢オハナ**

定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **99.8** %

【施設運営状況】

- 1 生活支援員と世話人が連携して、個別支援計画の作成や役割りの明確化を行い、実効性のある支援に取り組みました。
- 2 夜間支援として1名の宿直体制を行い、ご利用者及びご家族への安心、安全の確保を図りました。
- 3 災害時の対応としてスプリンクラー設置工事を行い、グループホームとしての安全性をより高めました。
- 4 就労しているご利用者に対しては、定着支援の一環として、企業の担当者や世話人と情報等の共有を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 健康な生活を送るため、日頃の行動や心身の様子から改善点を見出し、世話人と職員が協力して支援しました。
- 2 今年度は、宿泊旅行や様々な活動を合同で行い利用者同士の交流を図りました。また、そこにバックアップ施設職員も参加し、利用者や世話人との相互理解を深めました。
- 3 立川福祉作業所のクラブ活動に参加しました。利用者にとって憩いの場になるとともに日常の悩みを聞くことで適切な支援につなげました。
- 4 生活の中で起こる様々な要望を世話人が聞き取り、それをバックアップ施設のケース担当や就労担当と協議して、要望に応えていく支援を行いました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成23年度	12	1	6	3			1		1
平成24年度	12		3	6	1		1		1
平成25年度	12		3	6	1		1		1

## 4 児童・女性支援系福祉サービスの経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営しました。

### 【グループ総括】

- 1 サンライズ武蔵野の改築が完了し、定員を20世帯とし、緊急一時保護などの新規事業も立ち上げました。6月には定員に達し、母子世帯への支援の充実が図られました。
- 2 利用者一人ひとりの意向に沿って、関係機関との連携やステップハウスの活用、専門学校への進学等自立に向けた支援を行いました。その結果、グループホーム、都営住宅、アパート等地域生活へ移行しました。
- 3 利用者支援の向上に向け、「障害理解研修」「メンタルヘルス研修」を行いました。施設間交流研修では、他施設、他業種のノウハウを学ぶことで、職員の支援力の向上を図りました。
- 4 第三者評価を受審し、施設の課題把握と改善に努め、施設運営の向上を図りました。
- 5 記録の取り方検討会を立ち上げ、自立支援計画に基づいた支援の経過、考察等を効果的に記録する事、個人情報保護の視点を入れた記録の取り方について検討しました。
- 6 児童センターでは、地域の児童・保護者を対象に、保健衛生講習会を開催し、健康相談や育児相談を実施し、サンライズ武蔵野は、緊急一時保護、電話相談事業を開始し、施設機能を地域に提供しました。
- 7 大規模災害を想定したBCP、帰宅困難者対応、防災備品の整備等震災マニュアルを見直し、利用者の安全、安心な生活を担保しました。

#### 1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援しました。

#### 2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援しました。

#### 3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行いました。

#### 4 児童厚生施設・放課後児童健全育成事業

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営しました。  
また、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に児童センターを利用して、学童クラブを運営し健全な育成を図りました。

平成25年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名 **サンライズ武蔵野** 定員 **20**世帯  
短期・緊急一時 **1**世帯

利用者 年間稼働率 **97.1**% 入所 **97.1**%  
短期・緊急一時 **31.0**%

平均在所期間 **1.6**年（最長 **4.7**年）

年間入所 **12**世帯 **28**名  
年間退所 **2**世帯 **7**名

主な退所先 **都営住宅、民間アパート、学生寮**

【施設運営状況】

- 1 改築が完了し、4月に定員を10世帯から20世帯としました。25年度は12世帯が入所し、必要とする母子家庭への支援を行うことができました。
- 2 新規事業として、緊急一時保護、自主事業の電話相談を開始しました。地域に向けて施設の機能の提供を始めることができました。
- 3 改築後の半年点検、1年点検のほか、利用者からの聞き取りを行い、安全、快適に利用できる環境を整備しました。
- 4 利用者の要望や新しい設備に合わせてマニュアルを見直し、利用者の生活の改善を図りました。
- 5 地域交流として、バザー、餅つき会及び町会と防災訓練を実施し、地域の方たちとの交流を図りました。地域の青少年育成委員会、杉並区要保護児童対策地域協議会では、関係機関との情報共有を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者とともに個別支援計画を作成し、定期面談で課題を再確認し、関係機関とは情報共有を行い、自立に向けた準備を進めました。
- 2 入所世帯が増加したことから、家族の生活の安定、経済的自立に向けて補助保育、病児保育の需要の高まりに対応しました。その結果、25年度の待機児童は解消されました。
- 3 定員変更をし、一時期に多くの利用者の入所がありました。日常の声掛けや、保育、面談等により安心した生活を始められるようにしました。
- 4 学童の個別面談を行い、課題を明確にして支援を行ったほか、母の個別面談にも少年指導員が同席し、家族全体として支援を行いました。
- 5 高校、大学の受験生に向けて、奨学金や受験までのスケジュールの説明、助言を行いました。また、進学に向けて親子関係の調整を行うなどした結果、希望する高校、大学に進学することができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		給与・人事システム更新	572
購入等合計	0	購入等合計	572

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
世帯数	17	18	20	19	20	20	20	20	20
児童数	25	26	28	26	28	28	28	28	28
合計	42	44	48	45	48	48	48	48	48

1月	2月	3月	計
20	20	20	234
28	28	28	329
48	48	48	563

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成23年度	2	4	6
平成24年度	3	6	9
平成25年度	4	7	11

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
8	15	23	10	29
7	13	20	10	29
16	21	37	20	48

施設名	サンライズ青山	定員	20	世帯
		短期・緊急一時	1	世帯

利用者 年間稼働率	88.6%	入所	88.6%
		短期・緊急一時	31.2%

平均在所期間 2.9年（最長 10.8年）

年間入所	2	世帯	5	名
年間退所	5	世帯	10	名

主な退所先 都営住宅・民間アパート・実家・海外移住

#### 【施設運営状況】

- 1 補助保育スペースの整備（整理棚の設置）により、安全・快適な保育環境となり、母親の安心にもつながりました。
- 2 利用者の59%がDV世帯のため、利用者の安全を確保するため、赤坂警察署との連携強化を図った結果、生活安全課に相談係新設のきっかけとなりました。
- 3 緊急一時保護利用については、9世帯中、DV被害は8世帯であり、今後もシェルターとしての役割・機能を果たすため、関係機関との連携を強化します。
- 4 非常勤の心理相談員を4名配置したことにより、利用者の心理特性への理解が深まり、利用者の日常生活の安定及び職員の支援力向上につながりました。
- 5 地元町会活動を支援するために、施設スペースの提供、施設行事への町会の参加、町会の防犯活動（夜回り）への協力を実施しました。このような地域と密接した活動を推進した結果、利用者の安全・安心な生活に繋がりました。

#### 【利用者支援状況】

- 1 行政・教育（保育）・企業などとの連携は、利用者が地域社会で生活するための自立支援計画を確実なものにするという役割を果たしました。
- 2 心理相談員の増配置により、母親と子どもに適切な心理相談（療法）の機会が増えてきめ細やかな支援が可能となり精神的な安定につながりました。
- 3 町会行事などの参加は、母親や子どもが地域社会で自立した生活を営むための貴重な経験となり、生活の質の向上に繋がりました。
- 4 大手民間企業の社会貢献事業の活用は、母子の円滑な人間関係の育成、趣味や余暇活動の充実となりました。
- 5 退所者のアフターケアとして、就労継続に関すること、外国人の行政手続き、その他日常生活に関すること等について来所・電話で相談を受け、助言や支援を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
		利用者居室修繕工事	1,054
購入等合計	0	購入等合計	1,054
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		宿直室壁面収納棚設置工事	715
購入等合計	0	購入等合計	715

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
世帯数	19	19	19	18	17	17	17	17	17
児童数	21	21	21	20	19	19	19	20	20
合計	40	40	40	38	36	36	36	37	37

1月	2月	3月	計
18	18	18	214
21	21	21	243
39	39	39	457

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成23年度	9	10	19
平成24年度	5	5	10
平成25年度	4	4	8

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
11	13	24	20	43
13	15	28	18	38
14	17	31	18	39



平成25年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名 **サンライズ万世** 定員 **20** 世帯  
短期・緊急一時 **2** 世帯

利用者 年間稼働率 **91.0** % 入所 **91.0** %  
短期・緊急一時 **11.9** %

年間入所 **14** 世帯 **41** 名  
年間退所 **15** 世帯 **49** 名

平均在所期間 **1.3** 年 （最長 **4.5** 年）

主な退所先 **都営、民間アパート、自宅**

【施設運営状況】

- 1 安心・安全な生活を営むため、飛散防止のガラスフィルムの施工及び経年劣化による居室エアコンの新規交換工事に着手しました。
- 2 職員個人育成計画による研修参加及び人事考課制度に基づく人材育成を図り、職員の資質向上に努めました。
- 3 第三者評価の受審により、透明性のある施設運営と適切な支援をが行なわれていることが検証されました。
- 4 他職種連携を円滑に行なうための情報共有化は、利用者支援の質の向上及び職員のストレスマネジメントにつながりました。
- 5 昭和郷内の施設と連携を図り、母親へ就労の場を提供しました。子どもは、地域住民の一員として地域自治会主催の行事（運動会など）に積極的に参加しました。

【利用者支援状況】

- 1 母子の自立支援を円滑・効果的に行なうため、関係機関（保育・教育・行政など）と連携を図り、可能な限り利用者の意向が叶うような日常支援を行いました。
- 2 行政手続・就労・子育て支援などについて、母親の意向を尊重して本人と協議しながら行ないました。また、子どもの健全育成のため、積極的に学童クラブや保育所への入所支援を行ないました。
- 3 親子レクリエーション・母親へのリフレッシュ保育などを実施しました。また教育機関との役割・機能を明確にするため、教師と職員の意見交換の機会を設けました。
- 4 様々な課題を抱えた利用者へ適切な支援をするための研修を実施するなど、利用者の課題や適性に応じた支援を実施しました。
- 5 積極的なアフターケア（電話相談・学習支援など）により、母子家庭が、地域社会で自立した生活を維持できるよう支援しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
居室窓ガラス飛散防止フィルム	1,450	居室窓ガラス飛散防止フィルム	997
居室エアコン交換（17室）	1,538		
居室流し台交換（4室随時）	1,500		
居室IHコンロ（5台）	875		
購入等合計	5,363	購入等合計	997
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
居室照明器具取替（20室）	2,000	居室エアコン交換（17室）	1,500
		居室流し台交換①	184
		居室流し台交換②	189
購入等合計	200	購入等合計	1,873
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
受水槽ポンプ	1,045	居室照明器具取替（20室）	2,026
		居室流し台交換③及び （ベランダ転落防止柵含）	924
購入等合計	1,045	購入等合計	2,950
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		居室流し台交換④	303
		雛人形	303
		パソコン（事務用）	400
		防災倉庫	284
購入等合計	370	購入等合計	1,290

年間利用状況（各月月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
世帯数	16	17	20	19	18	19	19	16	17
児童数	25	26	33	33	31	35	32	26	26
合計	41	43	53	52	49	54	51	42	43

1月	2月	3月	計
18	19	18	216
28	29	28	352
46	48	46	568

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成23年度	10	20	30
平成24年度	14	25	39
平成25年度	16	23	39

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
9	19	28	19	58
6	11	17	20	56
3	6	9	19	48

平成25年度 事業報告書（児童養護施設）

施設名	双葉園	定員	38名
施設名	高嶋の家（地域小規模）	定員	6名
施設名	くすのき（地域小規模）	定員	6名

昭島市子どもトワイライトステイ事業 2名 年間延利用者数 112名

本園	年間稼働率	96.7%	本年・GH合算稼働率	97.5%
高嶋の家	年間稼働率	100.0%		
くすのき	年間稼働率	100.0%		

平均年齢 10.3歳（最高 18歳）  
（最低 2歳）

男女比率 25対22

年間入所 4名

年間退所 5名

主な入所理由 虐待 ・ 養育困難 ・ 措置変更

主な退所理由 家庭復帰 ・ 進学自立 ・ 措置変更

【施設運営状況】

- 1 今年度より自立支援コーディネーターを配置し、入所者及び卒園生への自立促進が図られてきました。また、円滑な事業活動と透明性のある施設運営を行ってきました。
- 2 地域小規模施設「くすのき」は、開設2年以上が経過して、地域自治会との連携及び地域の方とのつながりも強くなり、地域小規模施設「高嶋の家」とともに順調に運営ができました。
- 3 平成24年5月より昭島市より受託したトワイライト事業の利用者が前年より2.5倍に増えました。今後とも、地域の子育て支援の充実に向けて積極的に取り組んでいきます。
- 4 平成26年度からの専門機能強化型事業の導入にあたり、治療的ケアのスキルアップと職員の専門性の向上のための環境整備をしてきました。医師の確保ができ平成26年4月より事業を開始します。
- 5 小規模ユニット化に向けて、平成27年度に実施できるように検討をしてきました。平成26年度には、実施設計ができるように準備を進めていきます。

【利用者支援状況】

- 1 今年度もケース検討会を定期的開催し、チームケアの必要性について理解を深めることができました。また、職場内研修では、性的課題の対応についてや救急法、感染症対策等を学び、利用者支援の向上を図りました。
- 2 今年度は、児童の自立支援計画に基づいて小平児童相談所職員と情報交換会を開催し、施設と児童相談所が連携して入所から卒園、家庭復帰まで一貫して支援していく体制を確認しました。
- 3 平成26年度の福祉サービス研究発表会に向けて、当園で取り組んでいる「性に対する正しい認識と自他の尊厳」をテーマに検討し準備を進めてきました。
- 4 子どもたちが安心して生活できるための子どもの人権について、平成25年9月に都権利擁護担当係長の職員研修と子どもからの聞き取りを実施し、権利意識の向上を図りました。
- 5 年2回、第三者委員の方に子ども達からの相談を受けていただきました。また、第三者評価も実施しました。ボランティアも月に10名以上の方に来ていただき、子どもたちの支援に協力していただきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
ガスヒーボン修繕	900		
購入等合計	900	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		ガスヒーボン修繕	864
購入等合計	0	購入等合計	864

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男児	26	26	26	26	26	26	26	26	26
女児	23	23	23	23	23	23	23	23	23
合計	49	49	49	49	49	49	49	49	49

1月	2月	3月	計
26	26	25	311
23	23	23	276
49	49	48	587

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	学年別内訳				
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他
平成23年度	50	8	29	8	4	1
平成24年度	50	8	29	8	4	1
平成25年度	48	8	23	11	6	

施設名	いこいの家		定員	40名	
利用者 年間稼働率	52.9%		本入所のみ稼働率	64.0%	
本入所 平均年齢	39.0歳	(最高 64歳)	平均在所期間	2年	(最低 19歳)
		(最低 19歳)		(最長 7年)	
年間入所	5名	主な入所理由	居所無		
年間退所	23名	主な退所理由	グループホーム・ケアホーム等		
緊急のみ稼働率	21.0%				
緊急 平均年齢	37.4歳	(最高 62歳)			
		(最低 17歳)			
同伴児者 平均年齢	7.1歳	(最高 16歳)			
		(最低 0歳)			
年間利用者数	51名	主な入所理由	夫の暴力		
		主な退所理由	他施設		

【施設運営状況】

- 1 根拠法に基づき、利用者の自立支援を行いました。入所者が少ない反面、支援により自立退所する方が多く、利用者数は、例年より少ない結果となりました。
- 2 一時保護を利用する児童に安全で安心できる環境を提供するため、職員間の連携を図るとともに、プレイスペースや遊具の整備を行いました。
- 3 職員の個別育成計画に基づき、各職員の資質向上のため、研修や日々の業務を通して育成に努めました。また、グループで取り組んでいる記録の取り方検討会の課題にも積極的に取り組みました。
- 4 第三者評価を受審し、新たな課題の把握と改善を行いました。また、苦情解決制度を活用し、利用者の声から施設環境、支援の改善に努めました。
- 5 昭和郷の行事や昭和郷内でのエコショップを通して、地域の方々と交流を図りました。また、障害者サービス、職業センター、市の社会福祉協議会、障害福祉課等と連携して、支援の更なる充実を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 入所後手帳を取得し、障害の関係機関とも連携し、就労支援や居住先を探す支援の結果、グループホームなどの利用に12名が移行しました。退所後、安定した生活を送っています。
- 2 保育室、プレイルームの環境整備を進め、様々な背景を持って入所する子ども達が、安心して遊び、快適に過ごすことができる空間作りに努めました。
- 3 利用者の方が自分の意見を言えるように支援を行いました。毎年あった無断退所が今年度ありませんでした。自己退所もなく、施設が嫌だということを憚らず訴え、福祉事務所・センターの支援が途切れることなく次の支援につながりました。
- 4 精神的ケアの前段として、外部からの侵入に対する危機管理上、検討課題となっていた喫煙所を中庭と2階に目隠しをして設置。利用者の方々の安全管理に努めました。
- 5 18年度より開始した退所者自立生活事業により、アフターケアの方々が、地域の関係機関につながり、地域の支援者との関係もでき、生活が落ち着きました。

## 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
LED照明	1,450		
購入等合計	1,450	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
防災羽毛布団	950	LED照明	1,426
		エアコン	400
		冷凍冷蔵庫	689
購入等合計	950	購入等合計	2,515
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
冷凍冷蔵庫	794	中庭・2階喫煙室	580
ピアノ	550	ピアノ	520
購入等合計	1,344	購入等合計	1,100
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
1階廊下喫煙室	620	静養室サッシ交換	609
静養室サッシ交換	610		
購入等合計	1,230	購入等合計	609

## 年間利用状況(各月月初人員数)

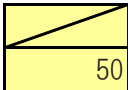
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
本入所	26	22	21	21	19	20	23	23
緊急一時	3	4	10	3	0	6	5	0
合計	29	26	31	24	19	26	28	23

12月	1月	2月	3月	計
19	16	15	10	235
0	0	0	0	31
19	16	15	10	266

## 利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳							
		～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	65～
平成23年度	23	6	2	5	6	0	3	1	0
平成24年度	27	8	3	9	2	1	1	3	0
平成25年度	10	3	0	3	2	0	0	2	0

施設名 **昭島市児童センター・つつじが丘北学童クラブ**

定員 児童センター  名  
学童クラブ

登録人数 **50**名

**【施設運営状況】**

- 1 児童センターの年間総利用者数は65,806名で日平均利用者は223名でした。対前年度(人)は103名、比率としては0.14%増でした。学童クラブの年間育成日数は294日で総出席児童数は7,983名でした。
- 2 今年度は「保健衛生講習会」を新規事業として立ち上げました。乳幼児とその保護者を対象とし「手洗い指導・歯磨き指導・インフルエンザ予防・健康相談・育児相談」を実施しました。
- 3 保護者・小学生・中学生・高校生の利用者区分ごとの利用者アンケートを実施しました。アンケートで得られた意見を施設の課題とし問題の改善に取り組みました。利用者の意見や施設からの回答は利用者へ公開しました。
- 4 地域ボランティアの方々の協力やご指導を頂きながら、様々な行事や講習会を実施しました。
- 5 施設の研修計画に沿って法人研修・グループ研修・施設内研修及び関係団体の各種研修に参加しました。職員一人ひとりの専門性の向上とスキルアップを目指した人材育成に努めました。

**【利用者支援状況】**

- 1 利用者が安心・安全に遊べる空間や環境を作り、遊具や周辺機器の定期的な点検・消毒を徹底しました。
- 2 学童クラブは、遊びを中心に様々な活動や行事を通して児童が健全に育つよう育成支援に努めました。アレルギー児の対応については、保護者の協力の下、細心の注意と個別配慮を徹底しました。
- 3 行政機関や保育所、地域の小・中・高校と随時情報交換をし、児童館に来館する児童や学童クラブに在籍している児童の支援向上に役立てました。
- 4 学童クラブにおける障害児の受入れについては、安心して安定した生活が送れるよう関係機関との連絡・調整を徹底しました。職員の専門性向上を目的とした研修にも積極的に参加しました。
- 5 児童センター運営委員会においては、各関係機関の担当者や学識経験者・地域住民の方々に対して児童センターの運営状況を報告しました。委員から出された利用状況など施設の課題や改善点については、今後のサービス改善に活かすよう取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(延利用者数)

昭島市児童センターぱれっと

時間帯	未就学		小学生		中学生		高校生		見学者	合計
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者		
午前	9,068	7,973	3,337	380	634	11	652	3	1,354	23,412
午後	7,028	5,560	16,430	896	5,419	15	1,996	4	389	37,737
夜間	103	96	39	27	1,377	20	2,725	10	260	4,657
合計	16,199	13,629	19,806	1,303	7,430	46	5,373	17	2,003	65,806

年間内訳		
児童	保護者	見学者
13,691	8,367	1,354
30,873	6,475	389
4,244	153	260
48,808	14,995	2,003

年間利用状況(延利用者数)

昭島市つつじが丘北学童クラブ

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男児	2,128	1,191	447	0	3,766
女児	1,498	1,395	1,278	0	4,171
合計	3,626	2,586	1,725	0	7,937

	育成日数	出席児童数	在籍児童数	1日あたり出席児童数
平日	244	7,804	10,096	32
土曜日	50	179	2,055	4
合計	294	7,983	12,151	36



## 5 医療事業の経営

### 医療保護施設・医療施設

医療を必要とする要保護者に指定医療機関として、適切な医療の給付を行うとともに、地域の方々に対して安全な医療を提供しました。

施設名 昭島病院 病床数 199床

#### 【経営状況】

- 1 入院は、1日平均患者数144人（前年度対比：-10人）、入院診療収益として、70,580千円減（前年度対比：3.9%ダウン）となりました。
- 2 外来は、外来1日平均患者数481人（前年度対比：-16人）、外来診療収益として、14,995千円減（前年度対比：1.6%ダウン）となりました。
- 3 入院の1日当り平均単価は、33,347円となり前年度対比で+995円となりました。外来の1日当り平均単価は、6,758円となり前年度対比で+80円となりました。

#### 【診療状況】

- 1 病床利用率は、72.3%となり前年度対比で、-5%となりました。
- 2 平均在院日数は、18日となり前年度対比で、+0.3日となりました。
- 3 救急車受入台数は、1,244台（104台／月）となり、前年度対比で、-59台（-5台／月）となりました。
- 4 手術件数は、540件（45件／月）となり、前年度対比で、+31件（+2.5／月）となりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
眼圧計	1,725	側臥位手術架台一式 眼圧計	1,580 1,775
購入等合計	0	購入等合計	3,355
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
手術用内視鏡システム	8,281	手術用内視鏡カメラシステム X線骨密度測定装置	12,915 9,198
購入等合計	8,281	購入等合計	22,113
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
PACS 白内障手術機器 骨密度測定装置 電動ベッド	51,975 51,000 9,660 5,000	電動ベッド 麻酔ワークステーション	3,353 3,465
購入等合計	117,635	購入等合計	6,818
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
除細動器	1,166	PACS PACS電気情報設備工事	51,450 14,875
購入等合計	1,166	購入等合計	66,325

患者数実績

年度	1日あたりの平均患者数	
	外来	入院
平成23年度	539	161
平成24年度	497	154
平成25年度	481	144

減免内訳

区分		件数	金額
入院	実人数	生活保護	160
		健保・国保	8
		無	0
		計	168
	延人数	生活保護	3,372
健保・国保		154	663,395
無		0	0
計		3,526	2,660,041
外来	延人数	生活保護	0
		健保・国保	0
		無	0
		計	0
その他		0	0
合計		3,526	2,660,041

施設名 **訪問看護ステーション**

1日平均利用者数 **12.0** 名 男女比率 **3** 対 **7**

平均年齢 **81.0** 歳 （最高 **102** 歳 最低 **33** 歳）

介護保険延人数	<b>67</b> 名
医療保険延人数	<b>19</b> 名
計	<b>86</b> 名

【施設運営状況】

- 1 新規利用者が少なく医療の訪問回数減少に伴い減収となりました。
- 2 電気自転車使用を増やし、経費削減に努めました。
- 3 家族会は、多数参加して頂き、好評でした。

【利用者支援状況】

- 1 年間延べ訪問利用者数は、前年度対比で、95人減となりました。
- 2 1日平均利用者数が、13人から12人と減少しました。
- 3 男女比が4対6から、3対7へ比率が変化しました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
車	800		
購入等合計	800	購入等合計	0

年間利用状況（月間延訪問者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	19	18	19	19	19	19	19	18	19	20	22	22	233
女性	46	44	45	46	44	41	40	44	41	39	37	39	506
合計	65	62	64	65	63	60	59	62	60	59	59	61	739

## 6 収益事業の経営

平成25年度 事業報告書

### 1 オフセット・活版印刷事業

施設名 **事業局**

#### 【経営状況】

1 対前年度増収増益を達成しました。(3,300万円増)

2 無事故、無災害を達成しました。

#### 【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
車輜	2,500	車輜	2,312
購入等合計	2,500	購入等合計	2,312
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

### 2 駐車場その他不動産に関する事業経営

下記の事業を行い、550万円を本部へ繰入ました。

#### 【経営状況】

1 富士見町駐車場  
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営を行いました。

2 原町ホーム土地賃貸業  
原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与しました。

3 昭島病院駐車場  
昭島病院の東側敷地を活用し、時間貸しの駐車場として経営を行いました。



### 三 職員福利厚生制度

本年度の職員福利厚生事業は下記のように実施しました。

1 永年勤続者表彰

10年勤続者 14名      20年勤続者 12名      30年勤続者 16名

定年退職者表彰（定年退職前勤続10年以上の職員対象）

13名

2 人間ドック健診助成の実施

40歳、50歳 受診 14名      60歳 受診 4名

婦人科検診助成の実施（35歳以上の女性職員対象）

乳がん検診 受診 370名      子宮がん検診 受診 315名

3 福利厚生センター事業の利用

ソウエルクラブ 年間加入 1種職員 799名  
2種職員 162名  
計 961名

4 職員メンタルヘルスケアへの取り組み

EPA（従業員支援プログラム） 21年7月～

職員ならびに家族（同居）、退職者・復帰者への支援カウンセリングの実施

相談件数 24件      利用者延数 20名

5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営      昭島市中神町 1260

定員 15名      保育時間 7時～21時

0歳（生後2カ月）から小学校就学前までの職員の児童を預かり保育

月極保育利用 年間延べ 79名

一時保育利用 年間延べ 30名

## 四 理事会及び評議員会

定款の定めにより、下記の理事会、評議員会を開催しました。

### 1 理事会

- ア 第1回 平成25年5月29日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正  
殿塚典彦、神田祐一  
（書面出席者：多久島耕治） 9名  
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、  
長沼昭島病院事務長  
議 事：平成24年度事業報告、平成24年度決算報告、組織規程一部改正、給  
与規定一部改正、管理・運営規程一部改正及び廃止（障害者・高齢者  
施設）、大山保育園仮設園舎賃貸借の契約方法等、平成24年度東京都  
指導検査による指摘事項及び改善報告
- イ 第2回 平成25年6月19日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、神田祐一  
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、  
品川卓正）9名  
監事：五十嵐力平 1名  
欠席監事：鈴木道生 1名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
議 事：大山保育園仮設園舎賃貸借の指名業者選定及び予定価格設定
- ウ 第3回 平成25年7月17日 於：原町ホーム 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、神田祐一  
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、  
品川卓正）9名  
監事：五十嵐力平 1名  
欠席監事：鈴木道生 1名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
議 事：大山保育園仮設園舎賃貸借の入札結果及び契約

- エ 第4回 平成25年8月28日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、神田祐一  
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正）9名  
監事：五十嵐力平 1名  
欠席監事：鈴木道生 1名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
議 事：大山保育園改築工事の契約方法等
- オ 第5回 平成25年10月9日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、神田祐一  
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正）9名  
監事：五十嵐力平 1名  
欠席監事：鈴木道生 1名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
議 事：大山保育園改築工事の指名業者選定及び予定価格設定
- カ 第6回 平成25年10月23日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、殿塚典彦 神田祐一 8名  
欠席者：多久島耕治、1名  
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
議 事：平成25年度第1次補正予算、定款一部変更、臨時職員就業規則一部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、運営規程一部改正（アミニティ富士見）、平成26年度以降施設業務委託の入札及び契約、大山保育園仮設園舎設置工事の進捗状況、原町高齢者複合施設の運営状況
- キ 第7回 平成25年11月13日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、神田祐一  
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正）9名  
監事：五十嵐力平 1名  
欠席監事：鈴木道生 1名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長



議 事：大山保育園改築工事の入札結果及び契約

- ク 第8回 平成26年2月19日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、  
殿塚典彦 神田祐一 8名  
欠席者：橋本泰子 1名  
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
長沼昭島病院事務長

議 事：平成25年度第2次補正予算、定款一部変更、(仮称)昭和郷高齢者複合施設建築、就業規則一部改正、給与規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、再雇用職員就業規則一部改正、昭島病院就業規則一部改正、昭島病院給与規程一部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、昭島病院再雇用職員就業規則一部改正、事業局再雇用職員就業規則一部改正、職員人事考課規程一部改正、安全運転管理規程一部改正、施設長人事、大山保育園改築工事の進捗状況、昭島市拝島駅前保育施設の事業者応募、豊島区立福祉ホーム「さくらんぼ」の指定管理応募、昭和郷施設整備計画(案)

- ケ 第9回 平成26年3月26日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、  
殿塚典彦 神田祐一 8名  
欠席者：橋本泰子 1名  
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
長沼昭島病院事務長

議 事：平成26年度事業計画、平成26年度予算、給与規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、経理規程一部改正、管理・運営規程一部改正及び廃止、評議員選任

※ 理事及び監事一覧(任期：平成26年5月29日まで)

理事長	牧野 洋一	常務理事	菅原 眞廣	理事	多久島 耕治
理事	橋本 泰子	理事	原山 陽一	理事	森谷 順蔵
理事	品川 卓正	理事	殿塚 典彦	理事	木村 美子(3/31退)
理事	神田 祐一(4/1就)	監事	鈴木 道生	監事	五十嵐力平

## 2 評議員会

- ア 第1回 平成25年5月29日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：古屋正義、小山寿、田中幸子、川向良和、比留間由真、堀茂、  
岡橋生幸 戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、林 美枝、水谷貞子、  
石川宜子、牧野洋一、菅原眞廣 15名  
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、  
長沼昭島病院事務長  
欠席者：坂井利夫、小林順吾、本山美八郎、飯山幸雄 4名  
議 事：平成24年度事業報告、平成24年度決算報告、平成24年度第11回理  
事会議決事項、平成24年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報  
告
- イ 第2回 平成25年10月23日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、  
川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、田中  
紀久子、六本木尚、林 美枝、水谷貞子、石川宜子、牧野洋一、  
菅原眞廣 19名  
監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
議 事：平成25年度第1次補正予算、定款一部変更、平成25年度第1～5回  
理事会議決事項、大山保育園仮設園舎設置工事の進捗状況、原町高齢者  
複合施設の運営状況
- ウ 第3回 平成26年2月19日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯  
山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、田中紀久子、六本  
木尚、林 美枝、水谷貞子、石川宜子、牧野洋一、菅原眞廣 18名  
監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
長沼昭島病院事務長  
欠席者：小林順吾 1名  
議 事：平成25年度第2次補正予算、定款一部変更、(仮称)昭和郷高齢者複  
合施設建築、平成25年度第6～7回理事会議決事項、大山保育園改築  
工事の進捗状況、昭島市拝島駅前保育施設の事業者応募

- エ 第4回 平成26年3月26日 於：原町高齢者複合施設 会議室  
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、  
堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、林 美枝、  
水谷貞子、石川宜子、牧野洋一、菅原眞廣 16名  
監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名  
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長  
長沼昭島病院事務長  
欠席者：小林順吾、本山美八郎、田中幸子 3名  
議 事：平成26年度事業計画、平成26年度予算、平成25年度第8回理事会  
議決事項

※ 評議員一覧（任期：平成26年5月29日まで）

坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	小林 順吾	本山美八郎
田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄	比留間由真	堀 茂
岡橋 生幸	戸塚 洋子	田中紀久子	六本木 尚	水谷 貞子
南山 徳英 (3/31退)	神田 祐一 (3/31退)	林 美枝 (4/1就)		
石川 宜子 (4/1就)	牧野 洋一	菅原 眞廣		



## 五 施設長会議及び各種委員会

### 1 施設長会議

原則として、毎月第一水曜日に、事務局からの報告、連絡及び提案等の協議を行うための施設長会を開催しました。

- ア 4月 平成25年4月3日(水) 於：京王プラザホテル あおぞら  
新施設長紹介、各種委員会・施設長会議の運営について  
役員会(25.3.27)報告  
24年度2月分月次実績報告  
各種委員会・各グループ報告
- イ 5月 平成25年5月15日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
24年度3月分月次実績報告  
各種委員会・各グループ報告
- ウ 6月 平成25年6月5日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
役員会(25.5.29)報告  
24年度決算報告、決算主要増減内容説明(対前年度比)  
24年度施設利用状況報告、24年度職員配置状況報告  
賞与について  
月次報告書様式について  
4月分月次実績報告  
各種委員会・各グループ報告
- エ 7月 平成25年7月3日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
5月分月次実績報告  
職員採用進捗状況について  
USBメモリー等取り扱いについて  
各種委員会・各グループ報告
- オ 9月 平成25年9月11日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
7月分月次実績報告  
職員採用状況  
平成25年度永年勤続表彰式について  
自転車通勤者の損害保険加入について  
ソウェルクラブ「非常勤職員を対象としたサービスコース」への加入に

ついて  
月次報告書様式について  
各種委員会・各グループ報告

- カ 10月 平成25年10月9日(水) 於：新宿NSビル 3階西ブロック3-J会議室  
8月分月次実績報告  
インターネット使用及びソーシャルネットワークサービスに関する注  
意、職員採用試験状況  
各種委員会・各グループ報告
- キ 11月 平成25年11月6日(水) 於：新宿NSビル 3階西ブロック3-J会議室  
9月分月次実績報告  
役員会(25.10.23)報告  
人事関係日程  
システム更新・XP対応について  
各種委員会・各グループ報告
- ク 12月 平成25年12月4日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
年末年始における施設運営管理について  
10月分月次実績報告  
自転車保険について  
新規採用試験受験者数及び内定者数  
各種委員会・各グループ報告
- ケ 1月 平成26年1月7日(水) 於：京王プラザホテル あけぼのの間  
11月分月次実績報告  
法人の自転車事故の保険について  
企画部からの連絡  
各種委員会・各グループ報告
- コ 2月 平成26年2月5日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
12月分月次実績報告  
昭和郷高齢者複合施設構想について  
各種委員会・各グループ報告

- サ 3月 平成 26 年 3 月 5 日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室  
1 月分月次実績報告  
役員会（26.2.19）報告  
平成 25 年度第 2 次補正予算 主な内容について  
昭島市拝島駅前保育施設の事業者応募について  
辞令交付等の日程について  
各種委員会・各グループ報告

## 2 各種委員会

平成 25 年度事業計画の定めにより、下記の委員会を設け業務を遂行しました。

### （1）総合企画委員会

委員：○山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄  
小林 一江 池田 康子 石川 宜子 石井 好子  
林 美枝 神田 祐一 原田 浩二 宮本 浩史  
水谷 貞子 長沼 君夫

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。総合企画委員会については法人の重要事項について議論し、理事長へ意見を進達する機関としました。また他の委員会の所掌事務について必要な進行管理等を行いました。

- ア 第 1 回 平成 25 年 4 月 3 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室  
・ 役員会（25.3.27）報告  
・ 各種委員会、施設長会の運営、年間計画について  
・ 2 月分事業実績について
- イ 第 2 回 平成 25 年 5 月 15 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室  
・ 3 月分事業実績について  
・ 後援会について

- ウ 第3回 平成25年6月5日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 役員会(25.5.29)報告
  - ・ 4月分事業実績について
  - ・ 夏季賞与の支給について
  - ・ 月次報告書様式について
- エ 第4回 平成25年7月3日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 5月分事業実績について
  - ・ 職員採用進捗状況について
  - ・ 職員定数調査について
  - ・ USBメモリー取り扱いについて
- オ 第5回 平成25年9月11日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 7月分事業実績について
  - ・ 補正予算について
  - ・ 職員採用状況について
  - ・ 平成25年度永年勤続表彰式について
  - ・ 自転車通勤者の損害保険加入について
  - ・ ソウェルクラブ「非常勤職員を対象としたサービスコース」への加入について
  - ・ 月次報告書様式について
- カ 第6回 平成25年10月9日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 8月分事業実績について
  - ・ インターネット使用及びソーシャルネットワークサービスに関する注意
  - ・ 職員採用試験状況について
- キ 第7回 平成25年11月6日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 9月分事業実績について
  - ・ 役員会(25.10.23)報告
  - ・ 人事関係日程について
  - ・ システム更新・XP対応について
- ク 第8回 平成25年12月4日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 10月分事業実績について
  - ・ 年末年始における施設運営管理について



- ・ 償還繰入再編・本部経費按分方法について
- ・ 自転車保険について

ケ 第9回 平成26年2月5日（水） 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 12月分事業実績について
- ・ 事業計画・当初予算提出について
- ・ 昭和郷高齢者複合施設構想について

コ 第10回 平成26年3月5日（水） 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 辞令交付等の日程について
- ・ 役員会（26.2.19）報告
- ・ 昭島市拝島駅前保育施設の事業者応募について

## （2）人事委員会

委員：○菅原 眞廣 山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄

職員の懲戒等について検討しました。

## （3）規程整備委員会

委員：○中島 昭 山川 浩一

佐々木 末廣 神田 祐一 相原 幸仁 水谷 貞子  
 山中 誠一 林 美枝 上林 唱子 石川 宜子  
 宮澤 民雄 長沼 君夫 梶原 和人

法人の組織、人事、給与、及びその他諸制度に関する規程について検討し整備しました。

ア 第1回 平成25年4月22日 於：地域交流室

- ・ 平成25年度規程整備委員会の活動計画について
- ・ 平成24年度人事考課の総括と25年度の考課の課題について
- ・ 今後の課題について

- イ 第2回 平成25年5月28日 於：地域交流室
  - ・給与規程一部改正について（高度専門士の給与格付）
  - ・65歳までの雇用について
  - ・職員定数について
  
- ウ 第3回 平成25年6月25日 於：地域交流室
  - ・65歳までの雇用について
  - ・職員定数について
  
- エ 第4回 平成25年7月23日 於：地域交流室
  - ・65歳までの雇用について
  - 再雇用給与の改定について
  - ・職員定数について
  
- オ 第5回 平成25年9月24日 於：昭島病院会議室
  - ・65歳までの雇用について
  - 再雇用給与の改定について
  - ・ソーシャルネットワークサービスに関する規定改正について
  
- カ 第6回 平成25年10月22日 於：地域交流室
  - ・自転車通勤者の損害保険加入について
  - 通勤届と使用者責任
  - 安全運転管理規程の一部改正
  - 今後のスケジュール
  - ・ソーシャルネットワークサービスに関する規定改正について
  - ・非常勤Aの廃止について
  
- キ 第7回 平成25年11月26日 於：地域交流室
  - ・安全運転管理規程の一部改正（自転車通勤）等について
  - ・臨時職員就業規則の一部改正について
  - 特別休暇（裁判員）、名称変更（「無資格」）
  
- ク 第8回 平成25年12月24日 於：地域交流室
  - ・自転車保険（個人賠償責任保険）について
  - ・各規程改正について

- ケ 第9回 平成26年1月28日 於：地域交流室
- ・各規程改正について
    - 就業規則（有給休暇付与日数減、夏季休暇日数増等）
    - 給与規程（通勤手当支給の厳格化等）
    - 臨時職員就業規則（非常勤Aの廃止、賃金加算額改定等）
    - 再雇用職員就業規則（採用手続きの簡素化、職別給料表の改定等）
- コ 第10回 平成26年2月25日 於：地域交流室
- ・25年度委員会活動の振り返りについて
  - ・今後の検討課題について
- サ 第11回 平成26年3月25日 於：地域交流室
- ・給与規程の一部改正について（双葉園職種関連）
  - ・26年度の検討課題について

#### （4）職員研修委員会

委員： 中島 昭  
 ○鎌田 弘道 折居 千恵子 小堀 和子 南山 徳英  
 相原 幸仁 田代 秀之 荒井 隆夫 飯島 一憲  
 三口 信次

法人職員の研修に関し企画、実施しました。

##### ① 委員会開催状況

- ア 第1回 平成25年4月12日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
- ・研修委員会年次計画及び役割分担
  - ・研修会場について
  - ・基礎研修
  - ・チューター研修
  - ・中堅研修の進捗状況について
- イ 第2回 平成25年5月17日 於 昭島病院会議室
- ・研修の事前準備
  - ・研修会場の配置
  - ・オリエンテーションについて
  - ・基礎研修の実施報告について
  - ・次年度の福祉サービス研究発表会のテーマについて
- ウ 第3回 平成25年6月14日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
- ・チューター研修
  - ・中堅研修の実施報告について
  - ・メンタルヘルス研修の進捗状況
  - ・施設長の参加対象者基準について

- ・次年度の福祉サービス研究発表内容及び会場について
- エ 第4回 平成25年7月12日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
  - ・(株)インソースと研修内容の確認について(副施設長及び管理職候補者研修、上級研修、新任職員フォローアップ研修)
  - ・メンタルヘルス研修 ・ハラスメント研修の進捗状況について
  - ・次年度の福祉サービス研究発表会の基調講演講師について
- オ 第5回 平成25年9月3日 於 原町ホーム集会室
  - ・施設長研修の講師打合せ ・プレゼンテーション能力向上研修打合せについて
  - ・メンタルヘルス研修 ・ハラスメント研修の実施報告について
  - ・次年度の福祉サービス研究発表会の抄録、会場と日時、スケジュールについて
- カ 第6回 平成25年10月11日 於 昭和郷第二保育園会議室
  - ・上級研修の実施報告について
  - ・新任フォローアップ研修 ・施設長研修の進捗状況について
  - ・次年度の福祉サービス研究発表会誌、プレ発表の抄録について
- キ 第7回 平成25年11月8日 於 原町ホーム集会室
  - ・新任フォローアップ研修 ・施設長研修の実施報告について
  - ・次年度の研修委託業者について
- ク 第8回 平成25年12月13日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
  - ・研修委託先候補3社によるプレゼンテーション
  - ・次年度の福祉サービス研究発表会のスローガン決定について
- ケ 第9回 平成26年1月17日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
  - ・リスクマネジメント研修 ・新任職員研修の進捗状況について
  - ・次年度の研修計画骨子 ・研修委託業者の配分について
- コ 第10回 平成26年2月10日 於 ひかり苑相談室
  - ・(株)インソースと新任職員研修の内容確認について
  - ・次年度の研修計画、研修名、日程の再確認について
- サ 第11回 平成26年3月14日 於 ゆたか苑会議室
  - ・次年度の福祉サービス研究発表会リハーサル、本発表の日程、基調講演候補者について
  - ・新任職員研修の実施報告について(会場変更など)
  - ・次年度の研修計画本文の修正点について

## ② 研修実施状況

### 平成 25 年度 法人としての全体研修実施状況報告

実施日	研 修 名	目 的
平成 25 年 5 月 10 日	<b>基礎研修</b> （経験年数 1～3 年） <b>H25.5.10（金） 9：30～16：30</b> 「コミュニケーション技術を身につける」 ・ビジネスコミュニケーションとは ・コミュニケーションのスタートライン ・「聴く」スキル＝「傾聴力」のポイント ・「訊く」スキル＝「質問力」のポイント ・「話す」スキルのポイント ・「ホウ・レン・ソウ」 <b>参加者 34 名</b> <b>講師</b> (株)インソース 深谷 朋美 氏	・プライベートでのコミュニケーションとビジネスにおけるコミュニケーションの違いを認識し、ビジネスコミュニケーションに求められるマインドを認識する。 ・言葉によるコミュニケーションだけではなく、第一印象など、言葉によらないコミュニケーションを含めた包括的なコミュニケーションスキルを習得する。
5 月 23 日	<b>課題別 「チューター研修」</b> (経験年数 2～5 年 新任职員の育成担当者) <b>H25.5.23（木） 9：30～16：30</b> 「OJTとは何か」 「OJTの進め方」 <b>参加者 31 名</b> <b>講師</b> (株)インソース 横田 真由子 氏	・チューターとしてOJTの意義を理解し、育成計画の策定方法を学ぶ。 ・「3ヶ月間の育成計画」を立て、OJTに役立てる。 ・仕事の仕方・ほめ方・叱り方等、具体的な進め方を習得する。
5 月 31 日	<b>「幹部候補者研修」</b> (平成 21.22 及び 24 年度管理職試験合格者) <b>H25.5.31（金） 14：30～17：00</b> 「法人の現状と課題」 「法人概要、財務上の課題、人事の課題、施設の課題」 <b>参加者 7 名</b> <b>講師</b> 常務理事、企画部長、総務部長、施設部長	

<p>6月11日</p>	<p><b>中堅職員研修</b>（経験年数5年程度）  <b>H25.6.11（火） 9：30～16：30</b>  「自己理解を深め、対人関係能力向上の啓発ポイントを見出し、自己に期待される役割を理解して、アクションプランを作成する」  ・中堅職員に求められる役割  ・フォロワーの基本とリーダーシップ力  ・仕事の管理、リスク管理  <b>参加者 23名</b>  <b>講師</b>  <b>（株）インソース 横田 真由子 氏</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅職員に求められる3つのスキル（コミュニケーションスキル・仕事の管理能力・リスクマネジメント）を強化する。</li> <li>・中堅職員のレベルアップを図る。</li> </ul>
<p>7月19日</p>	<p><b>メンタルヘルス研修</b>  （平成25年度新規採用正規職員）  <b>H25.7.19（金）14：30～16：30</b>  「ストレス対処と具体的対応」  ・ストレスの早期発見・早期対応  ・コミュニケーション、褒めるワークの実習  ・認知療法のエッセンスによる具体的対処法  <b>参加者 28名</b>  <b>講師</b>  <b>ヒューマン・フロンティア(株)</b>  <b>武井 あかね 氏</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタル不調についての理解を学ぶ。</li> <li>・メンタルヘルスが必要となっている具体的事例に対して、どのように対応していくべきかを学ぶ。</li> </ul>
<p>9月6日</p>	<p><b>ハラスメント研修</b>  （各施設の現場リーダー・管理職候補者）  <b>H25.9.6（金）14：00～16：30</b>  「現場で取り組むハラスメント防止」  ・パワーハラスメントを理解する  ・予防と対処のポイントを学び、ハラスメントのない職場づくりにつなげる  ・パワハラの実態と現状、予防と対策  <b>参加者 30名</b>  <b>講師</b>  <b>ヒューマン・フロンティア(株)</b>  <b>坂口 育実 氏</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントへの対応が必要となっている事例に即して、現場リーダーがどのように対応するかを学ぶ。</li> <li>・現場の課題としてのパワーハラスメントについて理解する。</li> <li>・社会状況の変化を認知して、予防と対処のポイントを学び、ハラスメントのない職場づくりにつなげる。</li> </ul>

<p>9月13日</p>	<p><b>副施設長および管理職候補者研修</b>  <b>H25.9.13 (金) 10:00~17:00</b>  「リーダーに必要なコミュニケーション能力とは」  ・目標共有、部下のモチベーション、接点、叱りによるリーダーコミュニケーション  <b>参加者 19名</b>  <b>講師</b>  <b>(株)インソース 野田 泰正 氏</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーが求められること、悩むことを理解する。</li> <li>・リーダーとしてのコミュニケーションスキルの向上を図る。</li> <li>・目標の共有化と適切な業務指示ができるようにする。</li> </ul>
<p>9月19日</p>	<p><b>上級研修</b>  (経験年数10年程度及び施設の主任・副主任)  <b>H25.9.19 (木) 10:00~17:00</b>  「置かれている環境の変化を考える」  ・業務改善の変革、部下の人材育成、日常指導のテクニック、変革目標の設定  <b>参加者 25名</b>  <b>講師</b>  <b>(株)インソース 野田 泰正 氏</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激に変化し続ける環境変化の中、リーダーに求められる役割を多面的に捉え、自己の認識を再認識の上、自組織の業務の枠組みの変革を熟考する。</li> <li>・変革実現に向けて、実践力を身につけ、部下育成に役立てる。</li> </ul>
<p>10月21日</p>	<p><b>新任フォローアップ研修</b>  (平成25年度新規採用正規職員)  <b>H25.10.21 (月) 10:00~17:00</b>  「プロフェッショナルな人材の要件」  ・仕事を進めるPDCAサイクル  ・目標設定とアクションプランの作成  <b>参加者 32名</b>  <b>講師</b>  <b>(株)インソース 木元 栄子 氏</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年間の職場活動の振り返りを行い、自分が目指すビジネスパーソン像を考える。</li> <li>・PDCAサイクルとコミュニケーションの重要性とその実践方法に重点を置き、自立的な仕事の進め方をも身につける。</li> </ul>
<p>11月6日</p>	<p><b>施設長及び管理職等研修</b>  (施設長・副施設長・管理職候補者等)  <b>H25.11.6 (水) 15:00~16:50</b>  「困難な状況を突破する管理者の役割と期待」  ・横浜八景島経営改革の経緯  ・東日本大震災時の対応状況  ・環境及び食育問題  <b>参加者 52名</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事情を抱えている利用者へ質の高いサービスを提供するため、管理職として、法人・事業所の理念を職員へ適切に説明できるコミュニケーションスキルの向上を図る。</li> <li>・コミュニケーションスキルの向上により、職員との</li> </ul>

	<b>講師</b> (株)横浜八景島 取締役社長 布留川 信行 氏	共通理解が深まり事業方針が明確化になる。
11月29日	<b>課題別 「プレゼンテーション能力向上研修」</b> (一般職員) H25.11.29 (金) 10:00~17:00 「プレゼンテーションの基本を理解する」 ・プレゼンテーションの伝え方、人柄、実践 <b>参加者 22名</b> <b>講師</b> (株)クレスコパートナーズ 若林 郁代 氏 他	・様々な発言の場でのコミュニケーションスキル、発表などでのプレゼンテーションスキルの向上を図る。 ・聴衆の興味を引き付ける話法、表現方法を身に付け、プレゼンテーションの実践力を養う。
11月~3月	<b>「管理職候補者の他法人（他施設）研修」</b> (24年度管理職試験合格者) 「他法人（他施設）の施設運営や支援方法を体験し、自施設の運営に還元する」 派遣先 (株)大起エンゼルヘルプ GH「なごみ浅草」 (社福) 東京都知的障害者育成会 立川通勤寮 (社福) 多摩療育園 養護老人ホーム「竹の里」 法人内 昭島荘、ひかり苑 <b>参加者 4名</b> <b>講師 派遣先施設長等</b>	
平成26年 1月16日	<b>「新規採用内定者研修会」</b> H26.1.16 (木) 10:30~14:30 「同援の福祉サービスの現状や課題・目標を理解する」 <b>参加者 52名 (内定者39名、講師等13名)</b> <b>講師</b> 総務部長 中島 昭 双葉園 児童指導員 藤澤 あゆみ むさしの保育園 保育士 中田 晴樹 さやま園 生活指導員 早川 暁未 ニューフジホーム 介護職員 渡邊 喬正 総務部 金子 敦子	・同援職員として「真の福祉の実現」には、同援の基本的な仕組みや実績の正確な理解が必要になることを確認する。 ・先輩職員より仕事の取り組む姿勢(目標・やりがい)や失敗談等の講義。 ・今後のスケジュール説明や給与規程・就業規則等の説明 ・ランチ・ビュッフェ



		菅原常務理事、各部長、各支援系グループ長挨拶 職員と新規採用内定者との交流の場を設ける。
2月10日	<b>課題別 「リスクマネジメント研修」</b> (主任・副主任・グループリーダー等、 及び相談窓口業務担当者) <b>H26.2.10 (月) 9:30~17:00</b> 「クレーム対応の基本と組織対応」 ・クレーム対応の4つの基本手順 ・ケース別クレーム対応方法 ・組織としていかにクレームに対応するか ・クレーム対応ケーススタディ <b>参加者 23名</b> <b>講師</b> <b>(株)インソース 野田 泰正 氏</b>	・クレーム対応の基本手順を理解するとともに、組織としてクレーム対応力の向上策を習得する。
3月6~7日	<b>新任職員研修 (新任採用者及び準ずる者)</b> <b>H26.3.6 (木) 9:20~17:00</b> ・学生と社会人との違い ・社会人としての自覚、基本ルール ・コミュニケーションの重要性、仕事の流れ <b>参加者 56名</b>  <b>H26.3.7 (金) 9:20~17:00</b> ・ビジネスマナーの基本、言葉遣いと敬語 ・話の「きき方」、電話対応 ・来客対応、訪問時のマナー <b>参加者 53名</b>  <b>講師 (両日とも)</b> <b>(株)インソース 木元 栄子 氏</b>	・社会人としての心構えや意識を学び、ビジネスマナーの知識や基本動作を体得する。 ・仕事の流れ・手順を理解し、仕事の進め方について体感し、今後の自分を想像して目標設定を行う。

## 平成 25 年度 グループ別研修実施状況報告

### 1 グループ名 高齢者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 25 年 9 月 5 日	H25.9.5 (木) 新任職員研修(採用 1 年未満) 「フレッシュマンフォローアップ研修」 参加者 13 名 講師 原町ホーム 主任 河野 雄太	・利用者にとって望ましい 介護とは何か、現場から説 き起こす介護の実務と理論 を学ぶ
9 月 20 日	H25.9.20 (金) 「事故発生時及び苦情対応の初期対応につ いて」 参加者 13 名 講師 日本興亜損害保険(株) 宮原 圭一 氏	
10 月 11 日	H25.10.11 (金) 「持ち上げない介護」 (老人保健施設アゼリアとの合同研修) 参加者 15 名 講師 パラマウントベッド	
平成 26 年 2 月 27 日	H26.2.27 (木) 新任フォローアップ研修 「接遇・自施設実践研修報告」 参加者 8 名 講師 原町ホーム 主任 河野 雄太	
10 月～3 月	平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月 施設間交換研修 参加者 5 名	・コア人材育成の育成

## 2 グループ名 障害者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 25 年 6 月 15 日	<b>新任職員研修 3 回連続講座</b> <b>「基本的ビジネスマナーを身につける」</b> <b>講師 嶋田 正代 氏</b> <b>H25.6.15 (土) 9:30~16:00</b> 自己の印象管理をし、基本マナーを学ぶ。 (現状把握と課題設定・電話対応) <b>参加者 19 名</b>	・障害者グループ新任職員の人材育成を行い、安定した人材確保と支援の向上を図る。 基本のビジネスマナーを理解する。
7 月 13 日	<b>H25.7.13 (土) 9:30~16:00</b> 訪問・対応の基本、及びコミュニケーションサイクルと交流分析を学ぶ。 <b>参加者 19 名</b>	
9 月 14 日	<b>H25.9.14 (土) 9:30~16:30</b> クレーム対応と仕事の進め方と報告の仕方を学ぶ <b>参加者 18 名</b> <b>参加者 延べ 56 名</b>	
10 月 18 日	<b>障害グループの施設見学と事業理解</b> <b>H25.10.18 (金) 9:00~17:30</b> 各施設を見学し、法人グループの事業を理解する。また、着任半年の振り返りを行い、虐待防止チェックリストによる支援の検証を行う。 <b>参加者 16 名</b>	・新採用職員が各施設の事業を理解し、法人への帰属意識を育成する。
4 月~通年	<b>サービス研究</b> <b>小茂根福祉園清掃作業</b> <b>「チリトリモデルの有効性」について研究する</b> <b>参加者 小茂根福祉園職員</b>	・サービス研究会に向けて、支援の検証と今後の就労継続支援事業の作業モデルの方向性を探る。

6月24日 7月1日	<b>施設内研修（介護技術講習会）への人事交流</b> 施設主催の介護講座に他施設職員も参加し、介護技術を習得する。	研修の機会を有効活用し、支援スキルの向上を図る。
7月11日  8月29日  9月26日	<b>主任研修</b> <b>参加者 主任及びそれに準ずる職員</b> H25.7.11（木）16：00～16：30 各施設の主任の役割と虐待防止法の理解 H25.8.29（木）15：30～16：30 職員のメンタルヘルスと主任の果たす役割 H25.9.26（木）15：00～16：30 支援困難事例のケース検討	・主任としての役割理解と資質の向上を目指す。また、次世代の管理職の育成の機会とする。
平成26年 3月11日	<b>全体職員研修</b> H26.3.11（月）18：00～20：30 <b>講演「施設内権利擁護と職場の活性化」</b> <b>参加者 86名</b> <b>講師 大正大学準教授 沖倉 智美 氏</b>	・虐待防止と権利擁護を理解する。また、施設職員が必要とする力（創造力と想像力）を学ぶ。

### 3 グループ名 保育支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成25年 4月13日	H25.4.13（土）9：30～11：30 （保育園職員） <b>講演</b> <b>「保育現場のリスクマネジメントを学ぶ」</b>  <b>参加者 119名</b> <b>講師 (株)アイギス</b> <b>代表取締役 脇 貴志 氏</b>	・保育現場でのリスクマネジメントを学び、実践に生かす。 ・職員がリスクに対するの共通理解を持つ。
5月17日	H25.5.7（火）13：30～16：30 <b>講演</b> <b>「職員育成と職場風土活性化のための階層別役割について」</b> <b>参加者 23名</b>	・中堅職員としての役割や心構えを学び、中堅職員としての自覚を持ちより、良い組織の構築を考える。

	講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	
7月6日	H25.7.6 (土) 9:30~11:30 「保育園で育む親心」 参加者 115名 講師 「親心を育む会」 スーパーバイザー 松居 和 氏	・保護者の姿勢が「子どもの育ち」に影響する事例や保護者の「保育士体験」の話を伺い、今後の保育のあり方を学ぶ。
11月15日	H25.11.8 (金) 13:30~17:00 講演 「危機管理対応～今 そこにある危機」 参加者 22名 講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	・様々な事故事例を伺い「保育園は安全な場所でない」ことを学び、危機意識を高める。 ・中堅職員として自覚を持ち「保育の質の向上」に努める。
1月29日 31日	H26.1.29 (水) 18:00~20:00 H26.1.31 (金) 18:00~20:00 講演 「乳児期におけるハイハイの大切さ」 参加者 25名 講師 NPO 法人 日本幼児健康体育協会 代表 池田 意都子 氏	・乳児期における這い這いの基本と大切さを職員間で共通認識し、保育の質の向上に努める。

#### 4 グループ名 児童・女性支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 25 年 6月11日 7月10日 11月18日	「障害について ～支援者としての生涯を考える～」 参加者 14名 参加者 9名 参加者 12名 講師 田口 道子 氏	・障害を理解し、支援者として障害を持つ利用者への対応を学ぶ。 階層別に3回実施する。

6月20日	H25.6.20(木) 「生きた接遇とコミュニケーション力向上」 参加者 12名 講師 宮田 恵 氏(消費生活アドバイザー)	・直接対応のしかた、ハラ スメントについて考えコ ミュニケーション力を向上さ せ、相手の立場に立った生 きた接遇とはどのようなこ とか気づき、行動につなげ ていく。
9月26日	H25.9.26(木) 「メンタルヘルスケア研修～見立ての作り方」 参加者 14名 講師 あさくさばしファミリー カウンセリングルーム 室長 野口 洋一 氏	・相談支援における見立て を学び、利用者の見立てを 作る要点を、対応困難事例 で検証する。
5月～3月	平成25年5月～平成26年3月 「記録の取り方検討会」 検討委員 13名 実施回数 10回 アドバイザー 田園調布学園大学人間福祉学部 社会福祉学科教授 村井 雄一 氏	・ケース記録等、記録の取 り方を検討し、職員が同じ 認識で統一した記録が取れ るようにする。
11月～3月	平成25年11月～平成26年3月 「グループ内施設交流研修」(3日間)	・他施設での研修を通して 連携している三業種の理解 を深めると共に、職員の視 野を広げ資質向上を図る。

## (5) 広報委員会

委員 山川 浩一(企画部長)

○岡本 勝巳 山下 弘子 高橋 百合子 唐澤 江里子

工藤 かおる 池田 清彦 東 俊郎 栗原 茂雄 長谷部 重行

「同援だより・同援通信」の発行等、本法人の広報活動に関し企画実施しました。

ア 第1回 平成25年4月26日(金) 於：原町ホーム集会室

・同援だより、同援通信、活動計画について

・同援だより盛夏号(171号)について

イ 第2回 平成25年5月29日(水) 於：事業局

・同援だより盛夏号（171号）第1回校正

ウ 第3回 平成25年6月10日（月）於：事業局

・同援だより盛夏号（171号）第2回校正

エ 第4回 平成25年6月17日（月）於：事業局

・同援だより盛夏号（171号）最終校正

オ 第5回 平成25年10月28日（月）於：原町ホーム集会室

・同援だより新春号（172号）について

カ 第6回 平成25年12月4日（水）於：事業局

・同援だより新春号（172号）第1回校正

キ 第7回 平成25年12月19日（木）於：事業局

・同援だより新春号（172号）第2回校正

ク 第8回 平成26年1月8日（水）於：事業局

・同援だより新春号（172号）校正

同援だより発行日

盛夏号（171号）平成25年7月1日

新春号（172号）平成26年1月15日

## ・同援通信委員会

委員 ○岡本 勝巳 工藤 かおる 唐澤 江里子 栗原 茂雄 長谷部重行

通信担当職員 縣 聡史 濱野亜希子 小池 香 前田 千紗子

ア 第1回 平成25年6月7日（金）於：事業局

・同援通信16号について

イ 第2回 平成25年7月3日（水）於：事業局

・同援通信16号内容検討

ウ 第3回 平成25年9月11日（水）於：事業局

・同援通信16号校正 17号の内容検討

- エ 第4回 平成25年10月2日(火) 於：事業局  
・同援通信16号第2回校正
- オ 第5回 平成25年11月6日(水) 於：事業局  
・同援通信17号第1回校正
- カ 第6回 平成25年11月11日(月) 於：事業局  
・同援通信17号第2回校正
- キ 第7回 平成26年3月10日(月) 於：事業局  
・同援通信18号校正

※その他随時校正作業 於：事業局

同援通信発行日

第16号 平成25年10月11日

第17号 平成25年11月20日

第18号 平成26年3月31日

## (7) 人事考課評価委員会

委員：○菅原 眞廣    中島 昭  
          神田 祐一    水谷 貞子    林 美枝    石川 宜子

職員人事考課規程第9条に基づく職員からの異議の申出に基づき開催しました。

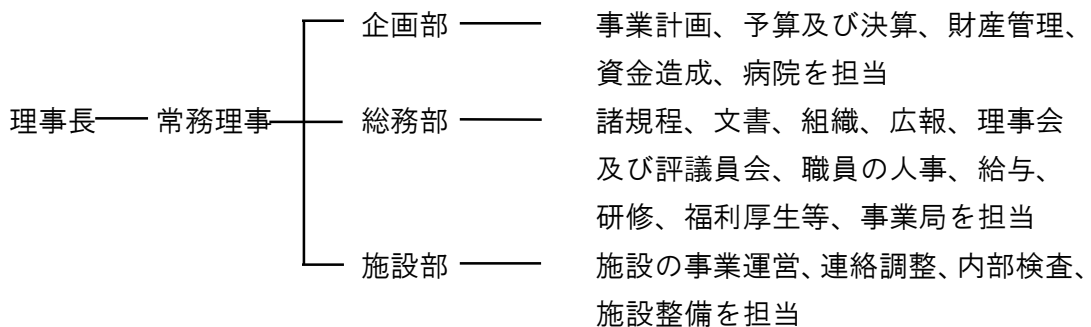
※ ○印は委員長



## 六 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図るため、企画部・総務部・施設部の三部制により業務を行いました。

### 1 組織



### 2 事業計画・予算等の総括

平成 24 年度事業報告、決算等の原案、平成 25 年度事業計画、予算及び補正予算の原案等を取りまとめ、評議員会及び理事会に提案し、承認を得ました。

### 3 指導検査・法人内部検査

#### ア 東京都による指導検査

東京都による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われましたが、文書による指摘事項はありませんでした。

むさしの保育園	6月18日	双葉園	10月11日
サンライズ青山	1月21日	サンライズ万世	1月22日
サンライズ武蔵野	1月24日		

#### イ 市区町村による実地検査

各市区による施設（事業所）の検査は、下記のとおり行われました。指導を受けた項目については、速やかに改善いたしました。

ゆたか苑	4月11日	（豊島区）
グループホーム「かえで」	6月20日	（昭島市）
ゆたか苑指定居宅介護支援事業所	11月26日	（豊島区）

#### ウ 法人内部検査

経理規程及び内部検査実施要綱に基づき、事務局職員による内部検査を下記のとおり実施しました。検査員からの指摘事項は速やかに改善しました。

むさしの保育園	6月6日	サンライズ武蔵野	6月25日
同援さくら保育園	6月27日	つつじが丘保育園	7月2日
サンライズ万世	7月9日	大山保育園	7月11日
サンライズ青山	7月16日	さやま園	7月18日
ニューフジホーム・かえで	7月23日	小茂根福祉園	7月25日
原町ホーム	8月1日	みなと保育園	9月3日
フジホーム	9月5日	東村山生活実習所	9月19日
双葉園	9月25日	ライトホーム	9月26日
昭和郷第二保育園	10月8日	サンホーム	10月10日
同援みどり保育園	10月17日	いこいの家	10月22日
立川福祉作業所	10月24日	昭島荘	10月29日
昭和郷保育園	10月31日	万世敬老園	11月12日
児童センターぱれっと	11月14日	ひかり苑	11月21日
さくらんぼ	11月26日	ゆたか苑	11月28日
さいわい福祉センター	12月10日	事務局	12月12日
昭島病院	12月17日		

#### エ 監事監査

監事による監査は、法人事務局並びに昭島病院・事業局について月1回定期的に監査が行われ、施設についても下記のとおり実施されました。

指摘を受ける事項は認められませんでした。助言等を運営改善に活かしました。

なお、5月17日に定款第26条の定めにより法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査が行われ、監査の結果は適正であると認められました。

利用者預り金関係 7月 1日

いこいの家	万世敬老園	フジホーム
ニューフジホーム	原町ホーム	ゆたか苑
ひかり苑	昭島荘	さやま園
さくらんぼ	アミニティ富士見	レヂオンス巢鴨

施設運営関係

サンライズ武蔵野	6月25日	原町ホーム	8月 1日
東村山生活実習所	9月19日	同援みどり保育園	10月17日
ゆたか苑	11月28日	さいわい福祉センター	12月10日